

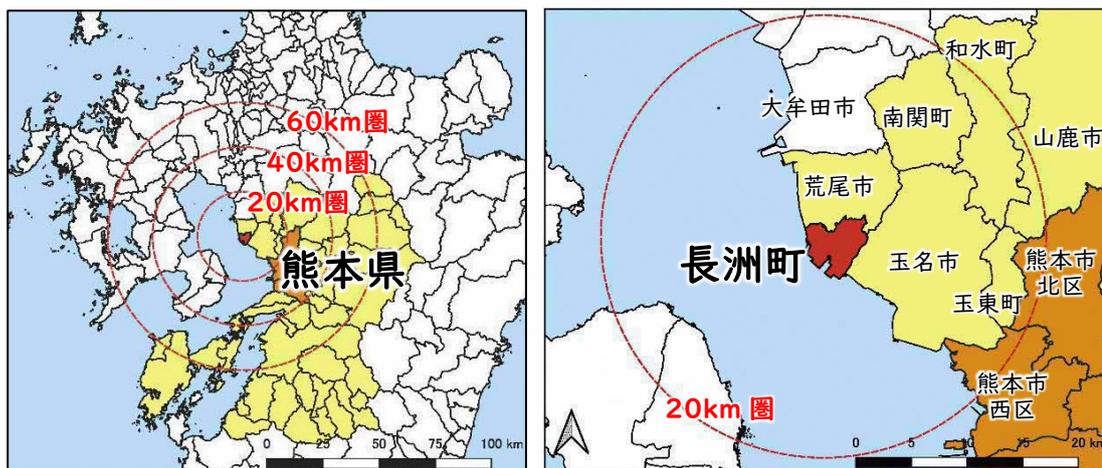
第2章 現状の把握・整理、課題の分析

2-1. 長洲町の概要

(1) 長洲町の位置

- 本町は、熊本県北西部に位置し、北部は荒尾市、東部は玉名市と接しています。県庁所在地である熊本市の中心部から約40kmの距離にあり、西部、南部が有明海に面しています。

【長洲町の位置図】



出典：国土数値情報

(2) 長洲町の歴史

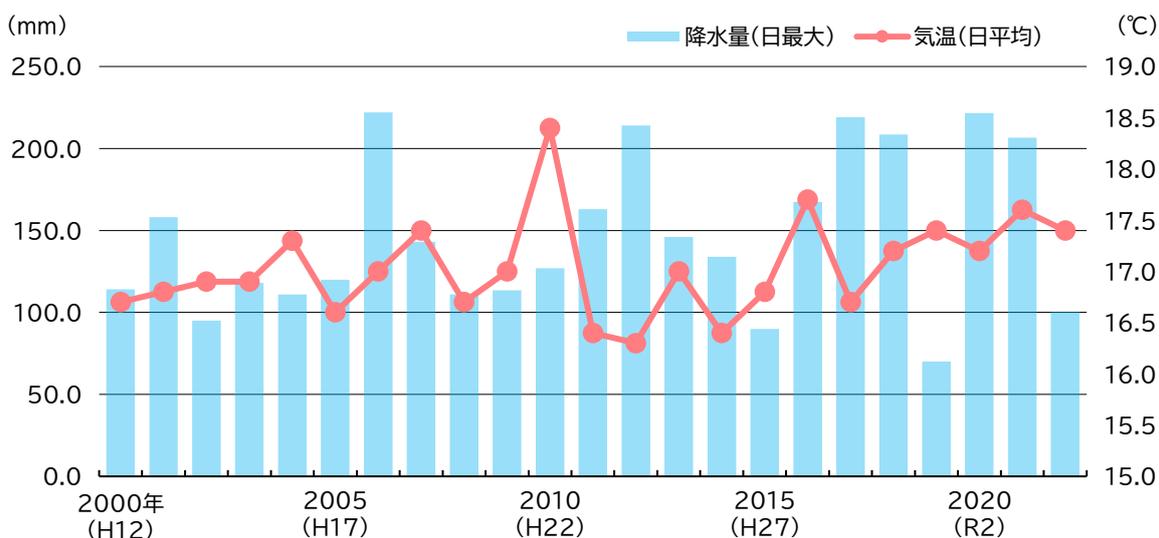
- 本町は、古くは有明海に突き出した細長い洲で、漁業者の目標地あるいは前進基地として栄えてきました。現在の水田地帯は、慶長12年、肥後藩主・加藤清正公・寛文4年、肥後藩主・細川綱利公による干拓事業によって形成されたものです。
- 町の沿革については、昭和30年に旧長洲町と清里村の一部が合併して旧長洲町となり、昭和31年に六栄村と腹赤村が合併して腹栄村となりました。さらに昭和32年に旧長洲町と腹栄村が合併して長洲町となり、現在に至っています。

1958年(昭和33年)	有明フェリー就航
1962年(昭和37年)	長洲都市計画区域決定
1964年(昭和39年)	新産業都市に指定
1974年(昭和49年)	大字有明埋立工事完成 (1,513,000㎡)、大字名石浜埋立工事完成 (1,186,969㎡)
1977年(昭和52年)	大字姫ヶ浦埋立工事完成 (97,488㎡)
1982年(昭和57年)	長洲駅を橋上駅舎に改築
2016年(平成28年)	熊本地震、前震は震度5弱、本震は震度5強を観測

(3) 長洲町の気象

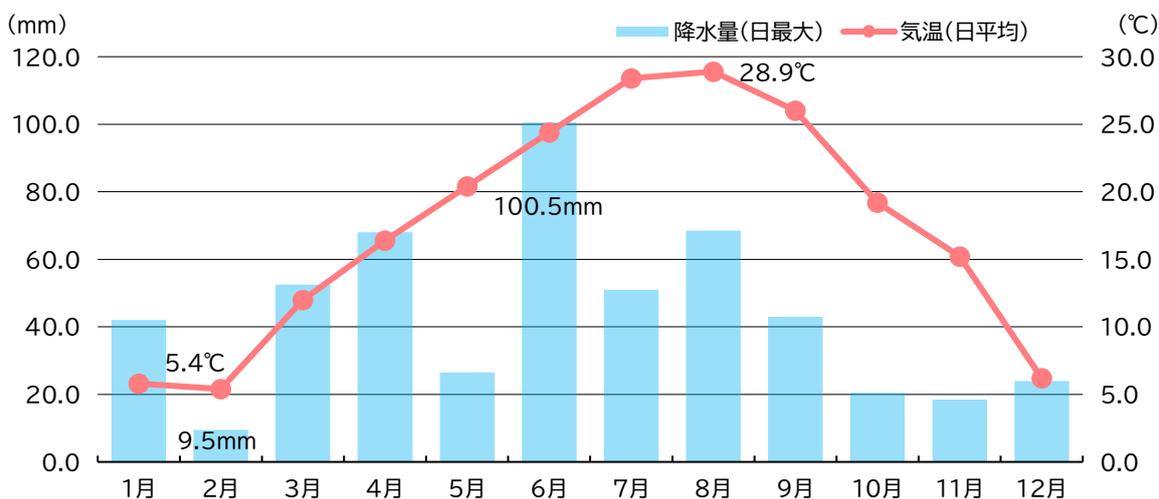
- 一日の最大降水量 200mm を超えた年が 2000 年から 2022 年のうち 6 回発生しており、降水量は増加傾向にあります。平均気温は 17℃前後で推移しています。
- 2022 年の一日の最大降水量は、6 月が 100.5mm と最も多く、2 月が 9.5mm と最も少なくなっています。一日の平均気温は 8 月が 28.9℃で最も高く、2 月が 5.4℃と最も低くなっています。

【岱明観測所における降水量と平均気温の推移】



出典：気象庁ホームページ

【岱明観測所における 2022 年の降水量と平均気温】



出典：気象庁ホームページ

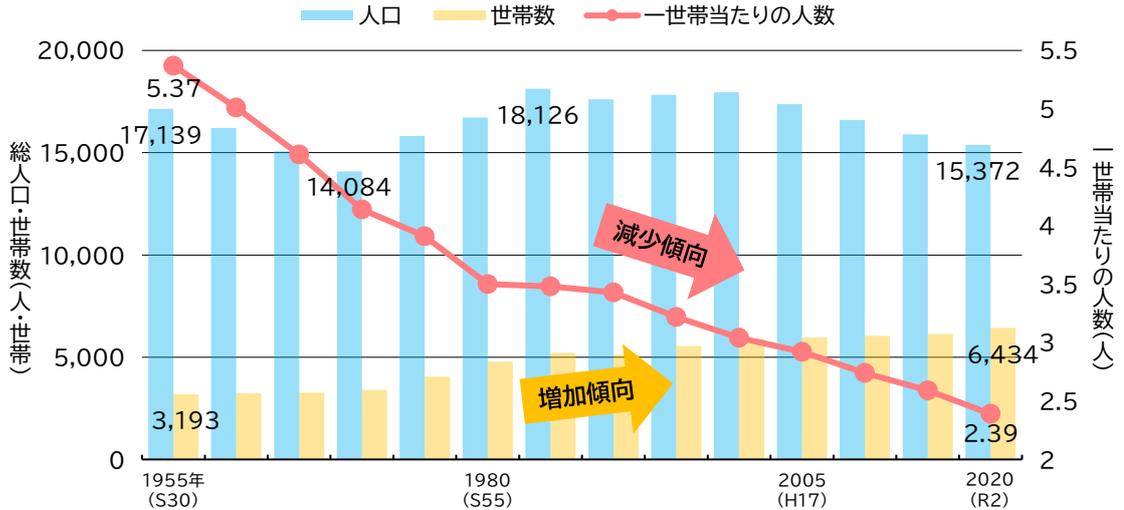
2-2. 長洲町全体での人口動向分析

(1) 長洲町全体での人口動向

①人口・世帯数の推移

- 人口推計を見ると、1955年から増減を繰り返し、近年は減少しています。一方、世帯数は年々増加しており、核家族化が進行し家族構成の変化が見られます。

【長洲町人口・世帯数・一世帯当たりの人数の推移】

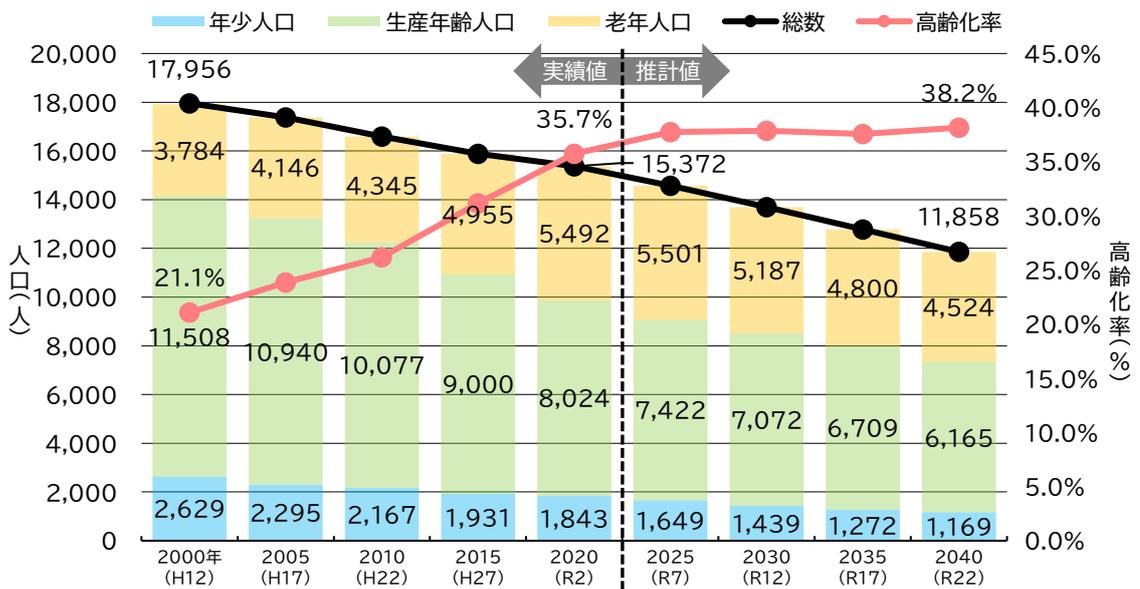


出典：国勢調査

②人口推計

- 2025年以降、老年人口が増加から減少に転じることが予想されています。また、総人口は減少しますが、高齢化率は2025年を境に横這いで推移しています。

【国立社会保障・人口問題研究所（以下、社人研）の推計値ベースでの人口】



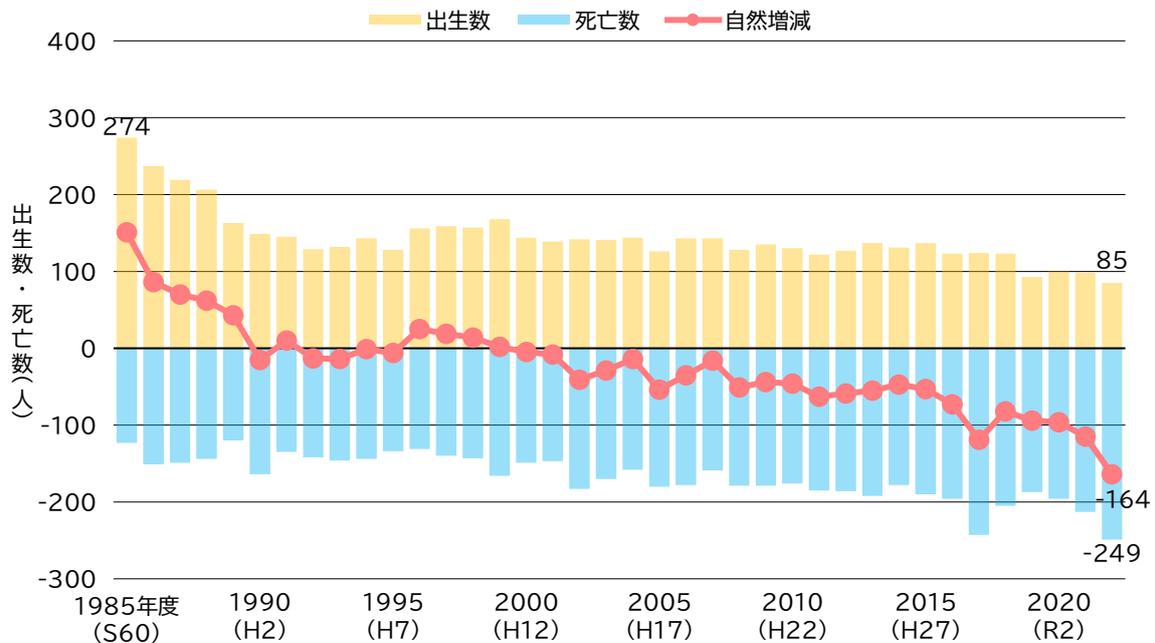
出典：国立社会保障・人口問題研究所

(2) 自然増減・社会増減の推移

① 自然増減の推移

- 自然増減については、1985年度から1989年度まで出生数が死亡数を上回る自然増の状態が続いていましたが、2000年度からは死亡数が出生数を上回る自然減の状態が続いています。

【自然増減の推移】

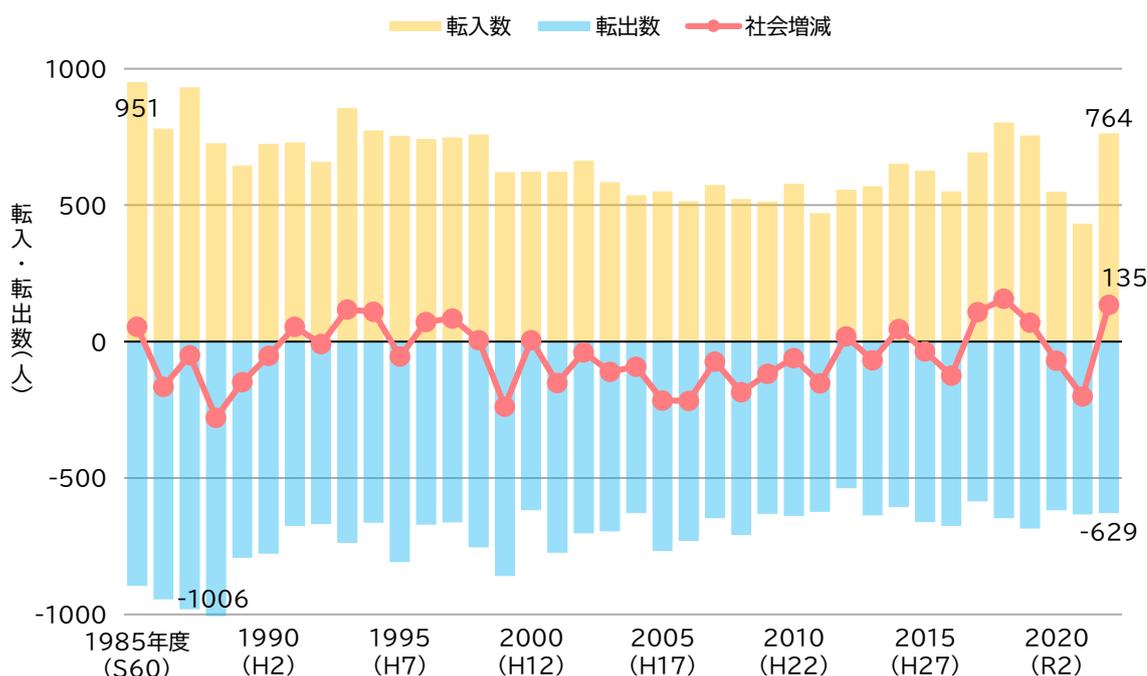


出典：住民基本台帳

② 社会増減の推移

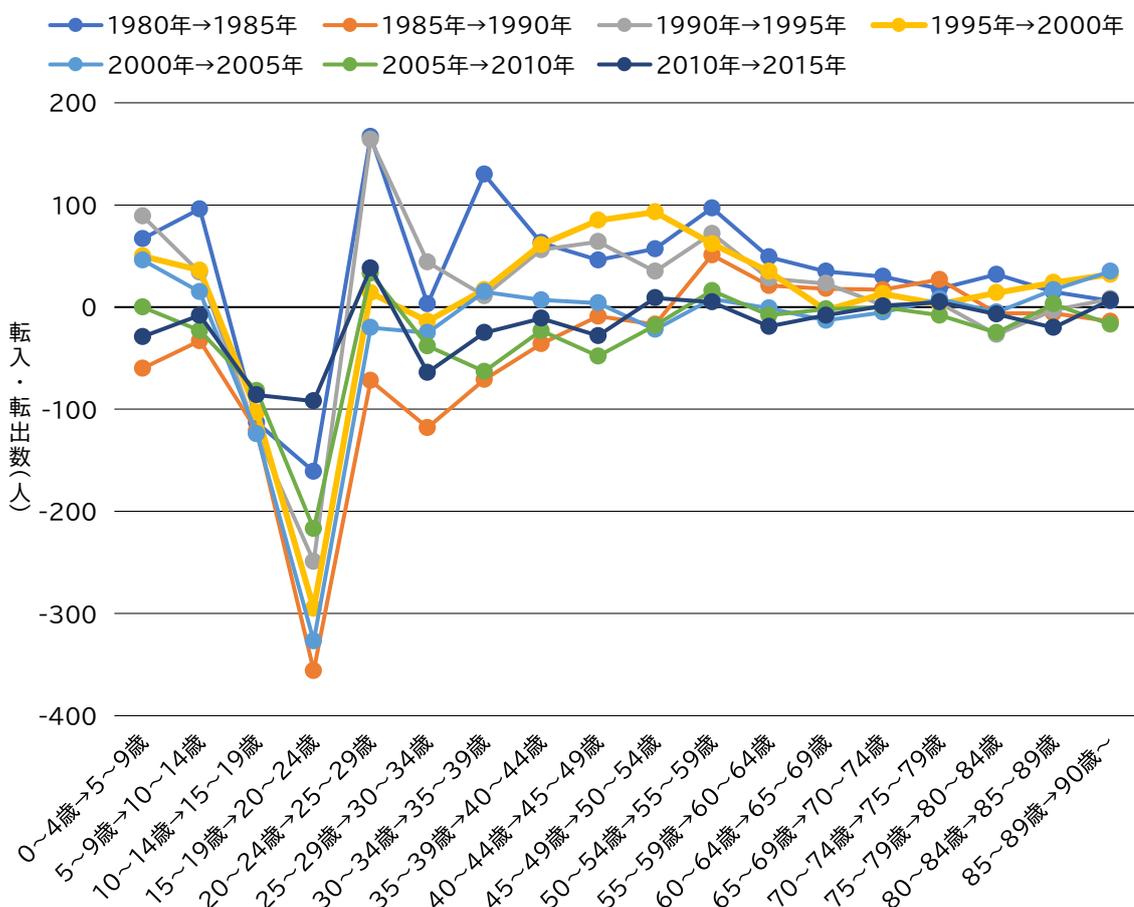
- 社会増減については、1988年度に社会増減数が最も低下しています。2017年度から2019年度にかけて転入数が転出数を上回る社会増で推移し、2020年度からは社会減に転じましたが、2022年度には再度社会増に転じています。
- 年齢別純移動数を見ると、15～19歳が20～24歳になる際の転出が多く見られますが、1985年から1990年にかけての転出数に比べ2010年から2015年にかけての転出数は大幅に少なくなっています。
- また、20～24歳が25～29歳になる際の状況を見ると、1985年から1990年にかけては転出傾向となっていたが、2010年から2015年にかけては転入傾向になっており就職等によって本町に戻ってきている若者も多い状況となっています。

【社会増減の推移】



出典：住民基本台帳

【年齢別純移動数の状況】

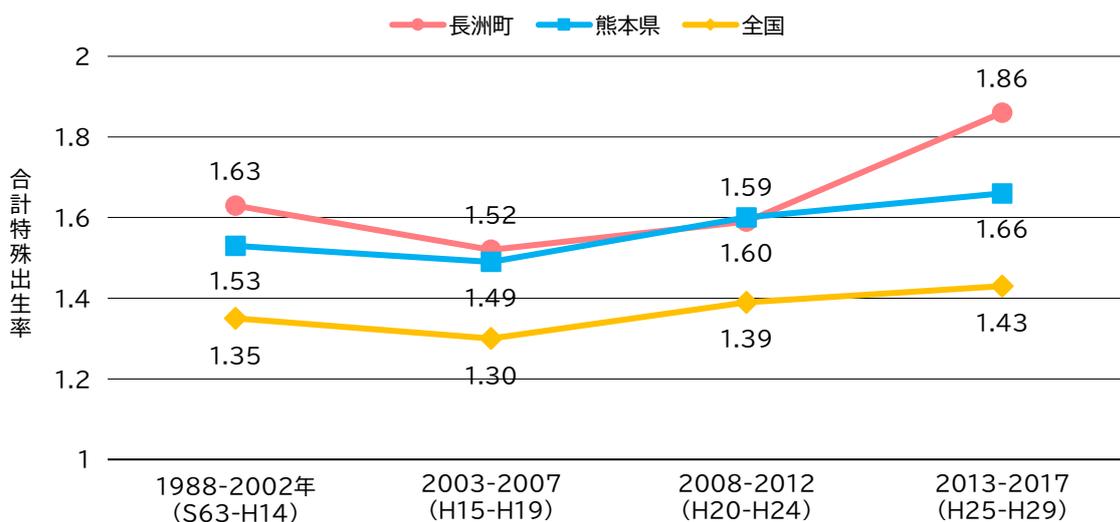


出典：地域経済分析 (RESAS)

(3) 出生率の推移

- 2013年から2017年にかけての町の合計特殊出生率は1.86と全国平均や熊本県平均と比較して高い状況となっています。
- 2003年から合計特殊出生率は増加傾向にあるものの、「将来にわたって人口が増加も減少もせず世代間の人口が均衡する値」とされる2.07より低い値で推移しており、今後も人口が減少する見込みです。

【合計特殊出生率の推移】

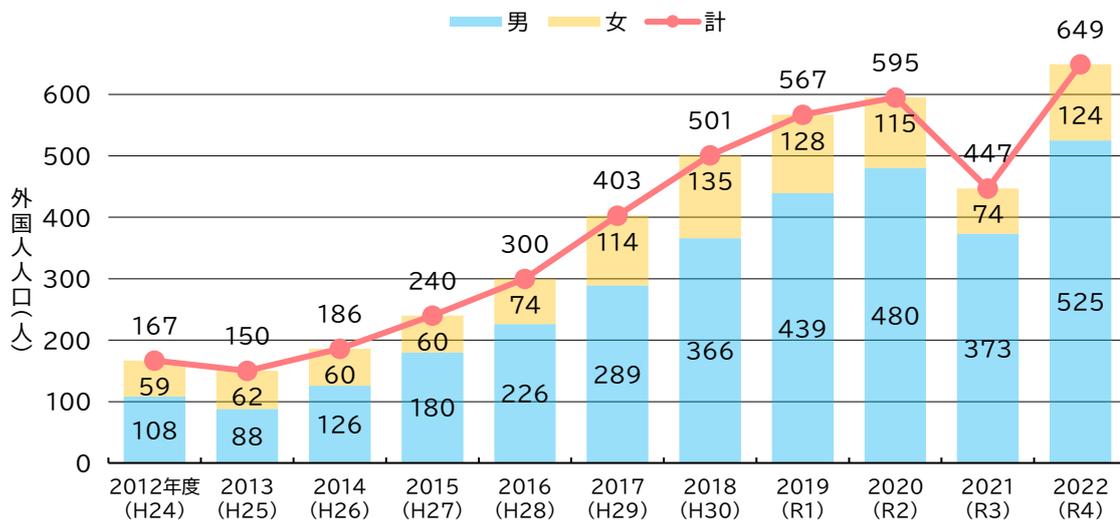


出典：地域経済分析 (RESAS)、厚生労働省

(4) 外国人人口動向の推移

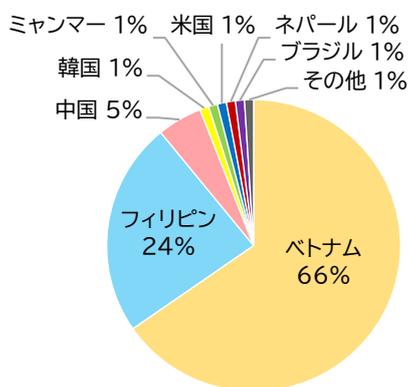
- 外国人人口の推移を見ると、2013年度以降外国人人口は増加傾向にあります。国籍別人口構成（2020年12月末）は、ベトナムが66%で最も多く、次いでフィリピンが24%となっています。
- 総人口に占める外国人割合は熊本県内の自治体の中で最も高い状況です。

長洲町外国人人口の推移



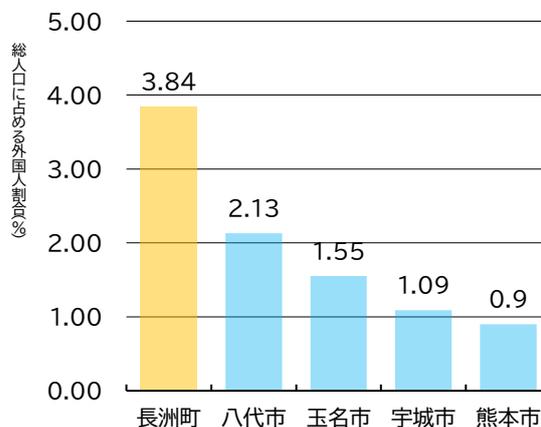
出典：住民基本台帳

国籍別人口構成（2020年12月末）



出典：第2期長洲町人口ビジョン

総人口に占める外国人割合（2020年） （熊本県内における上位5つの自治体を抜粋）



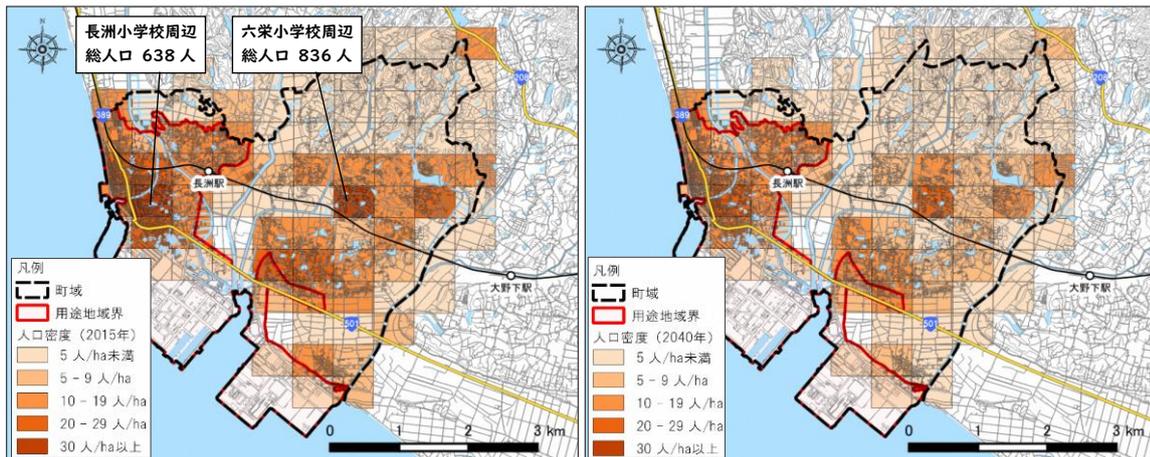
出典：国勢調査

2-3. エリア別の人口動向分析

(1) 人口密度の動向

- 2015年の人口分布を見ると長洲小学校と六栄小学校の周辺において人口密度が30人/ha以上であり、人口が集中しています。
- 2040年においても、人口分布の傾向に変化は見られないものの、町全域において人口の減少が見込まれており、特にJR長洲駅西側における人口減少が顕著になっています。

500mメッシュごとの人口密度（2015年） 500mメッシュごとの人口密度（2040年）



長洲町 人口増減（2015～2040年）

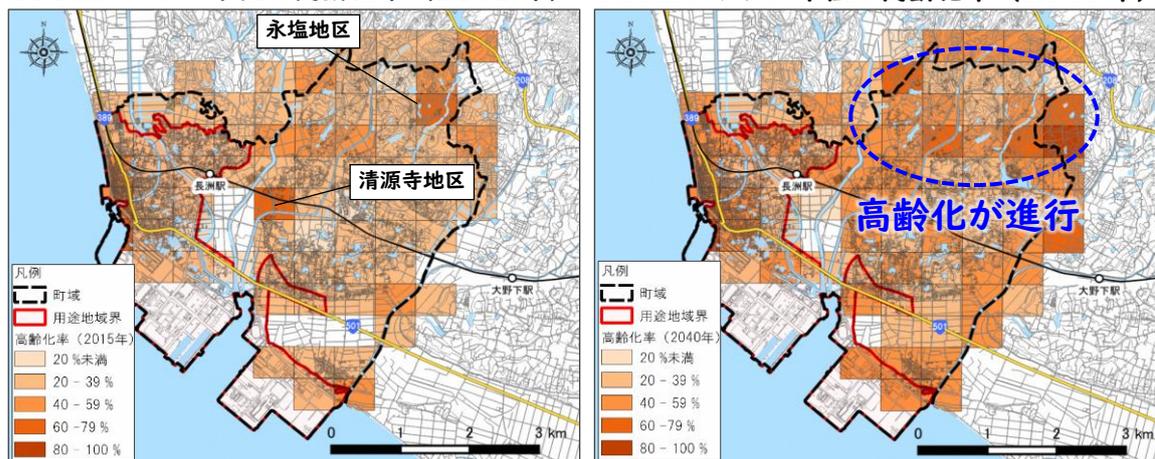


出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所

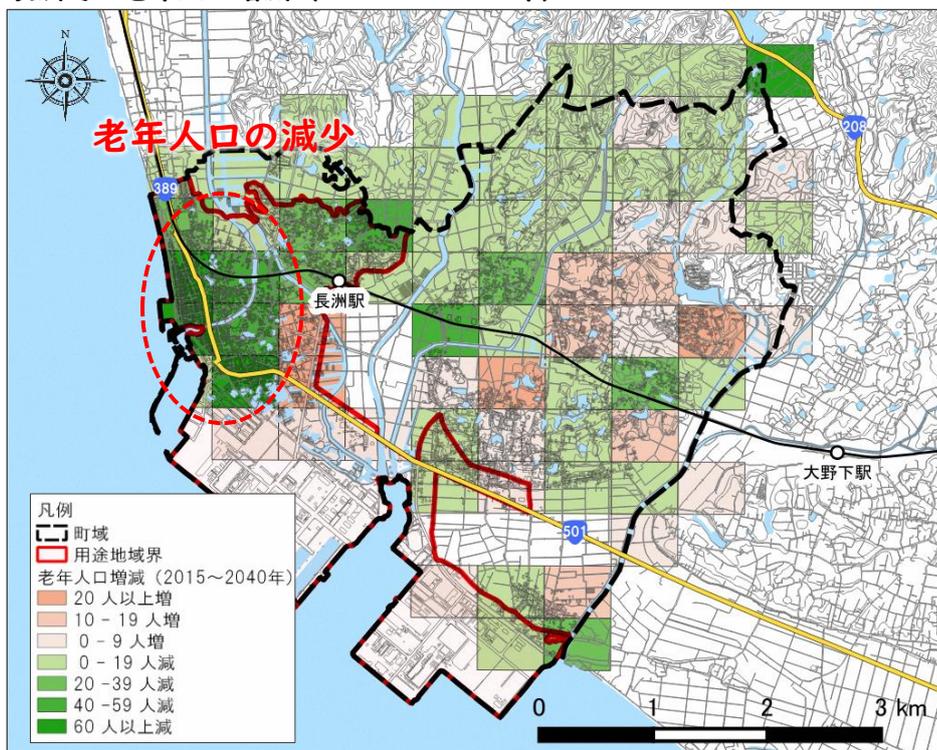
(2) 高齢化率の動向

- 2015年時点の500mメッシュの高齢化率を見ると、清源寺地区と永塩地区の一部において高齢化率が60%~79%と周辺と比較して高い値となっています。
- 2040年時点の500mメッシュの高齢化率を見ると北東部において高齢化が進行することが見込まれています。
- 2015年から2040年までの老年人口の増減を見ると、JR長洲駅西側では老年人口が特に減少することが予想されています。

500mメッシュ単位の高齢化率（2015年） 500mメッシュ単位の高齢化率（2040年）



長洲町 老年人口増減（2015~2040年）



出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所

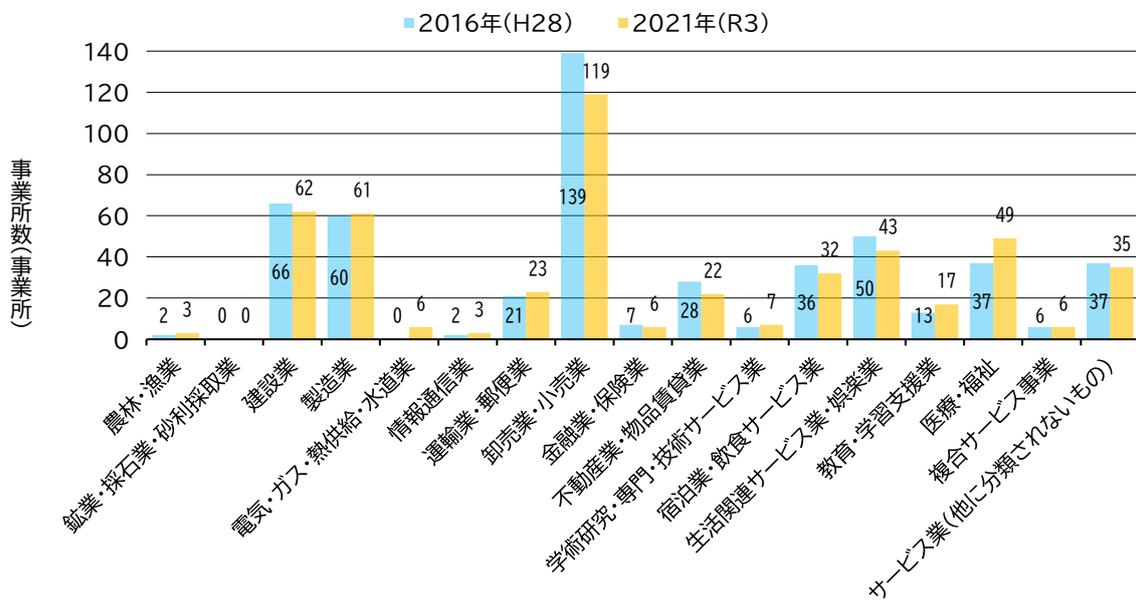
2-4. 都市の現況把握

(1) 産業状況

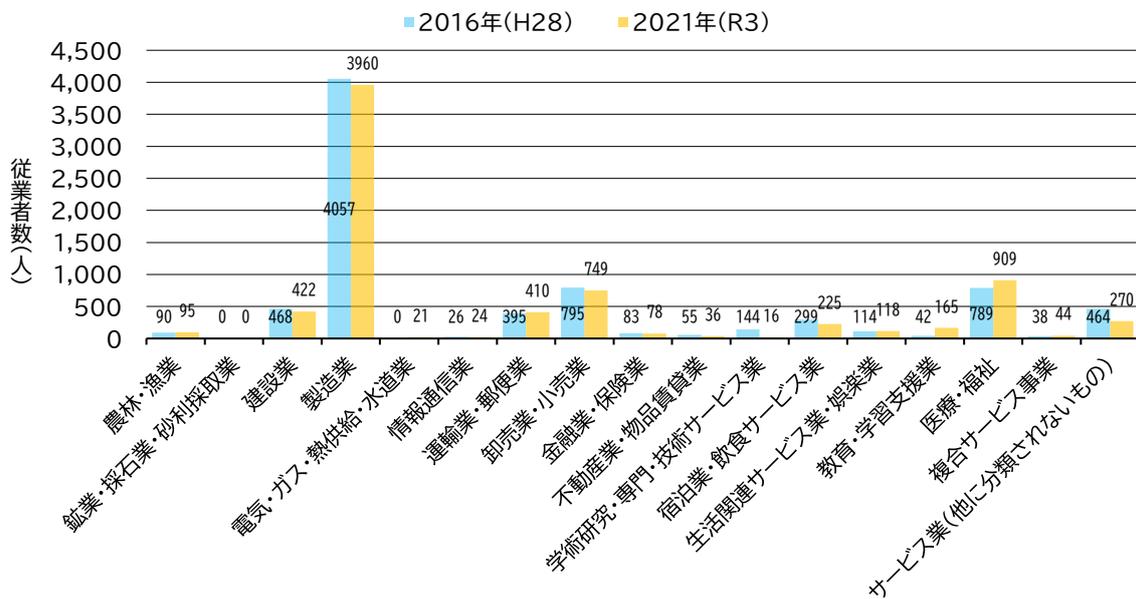
① 産業大分類別事業所数・従業員数

- 2016年から2021年における町の事業所数は「卸売業・小売業」が最も多く、次いで「建設業」「製造業」となっています。また、「農林・漁業」「製造業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「運輸業・郵便業」「学術研究・専門・技術サービス業」「教育・学習支援業」「医療・福祉」の事業所数が増加している一方で「卸売業・小売業」の事業所数は大きく減少しています。
- 産業別従業者数を見ると「製造業」が最も多く、総従業者数の5割以上を占めています。

【産業別事業所数】



【産業別従業者数】

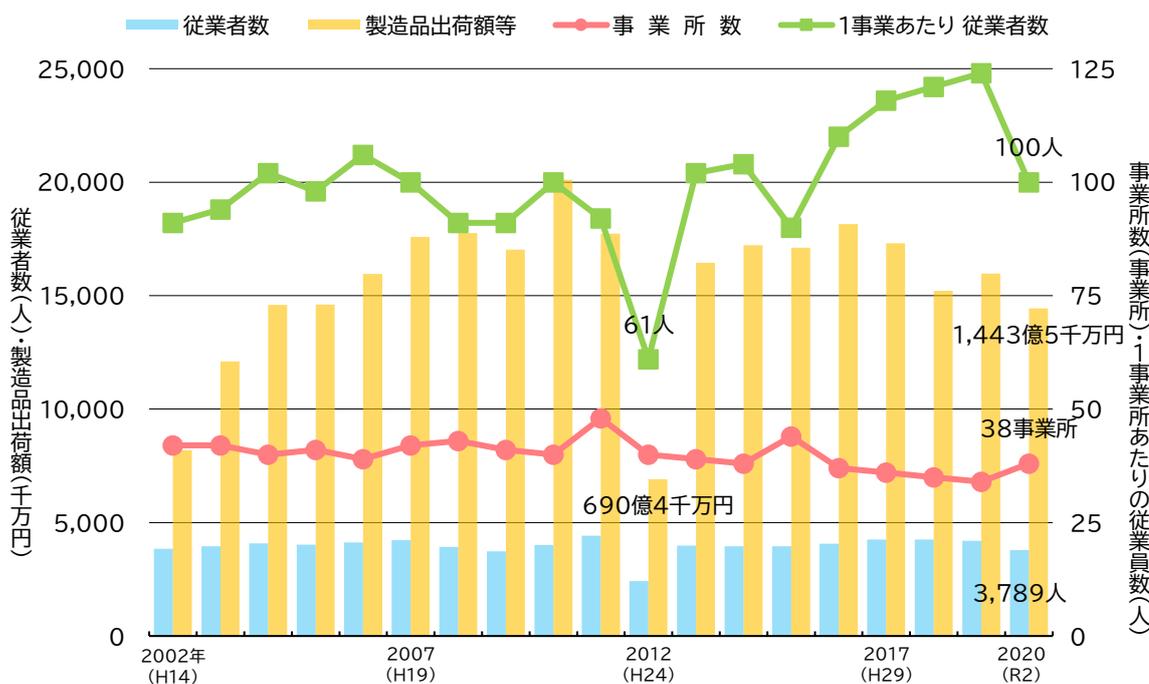


出典：経済センサス

②製造品従業者数・出荷額推移

- 2002年以降、製造業の従業者数は4,000人前後で推移しています。製造品出荷額等は2012年に690億4千万円まで下落しましたが、以降は増減を繰り返しています。
- 事業所数は40事業所前後で推移していましたが、2016年以降は減少傾向にあります。
- 1事業所あたりの従業者数は2012年に61人に減少しましたが、2015年以降は増加しており、2020年に減少している状況です。

【製造品従業者数・出荷額推移】



出典：工業統計調査

③商業従業者数・販売額数の推移

- 年間商品販売額は2002年以降増減を繰り返しており、2014年以降は増加しています。
- 従業者数は2002年から2014年にかけて減少していましたが、2016年に増加に転じています。

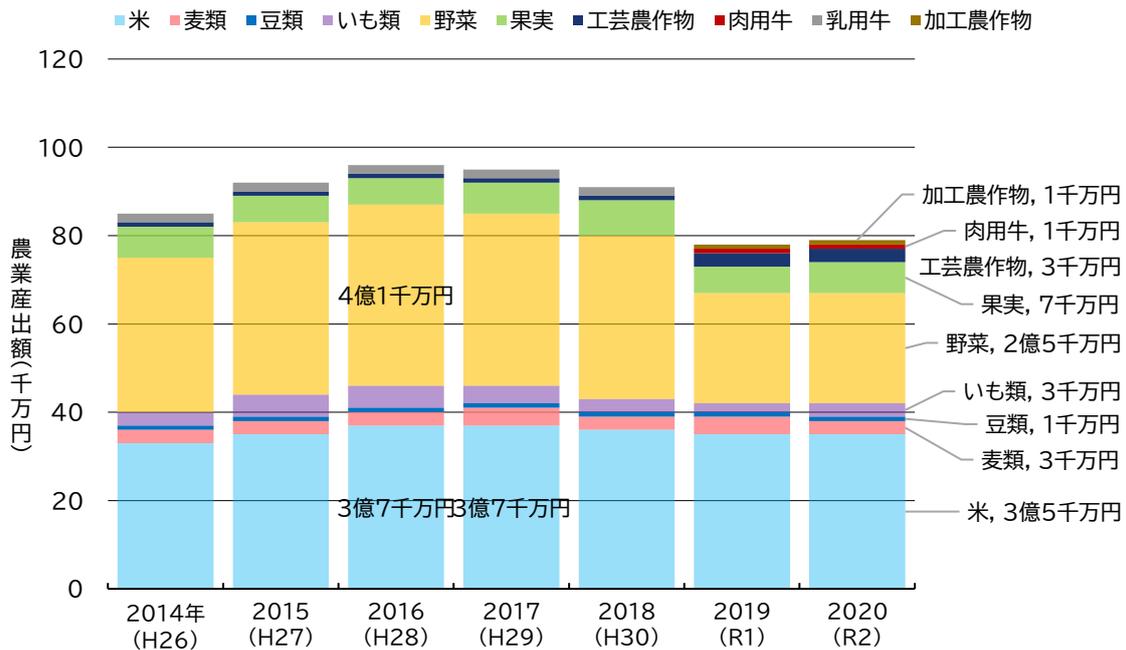


出典：商業統計調査

④農業産出額の推移

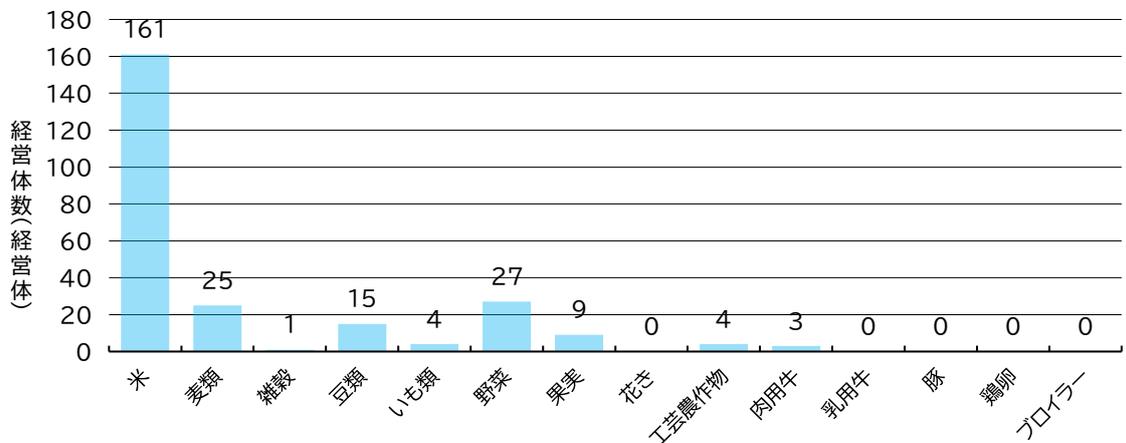
- 米の産出額は2016年と2017年に3億7千万円、野菜の産出額は2016年に4億1千万円となっており、その後は減少傾向にあります。その他の産出額はどれも1億円未満で推移しています。
- 乳用牛の産出額は2018年まで横ばいで推移していましたが、2019年以降、経営体はなくなり、産出額に現れなくなっています。
- 農業経営体数は米の経営体数が最も多く、全体の約65%を占めていますが、畜産の経営体数は少なく、肉用牛の3経営体のみとなっています。

【耕種・畜産の種類別産出額】



出典：農林業センサス

【農業経営体数】

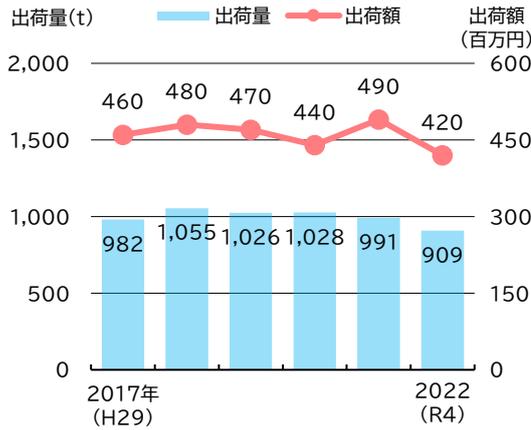


出典：農林業センサス (2020年)

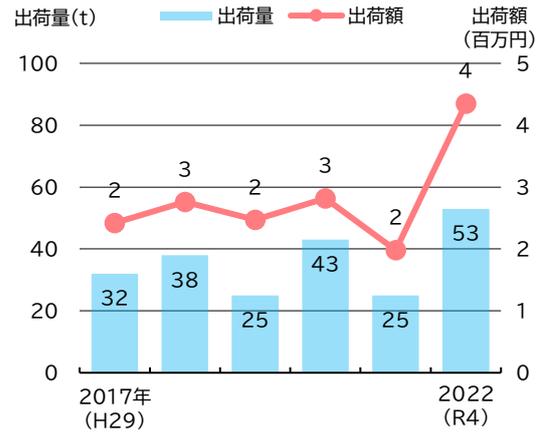
⑤代表的な農作物・水産物の出荷量・出荷額の推移

- 大豆においては出荷量・出荷額ともに増加傾向にある一方、ミニトマト、米においては減少傾向となっています。
- 麦においては出荷量が増加傾向にありますが、出荷額は減少傾向となっています。
- 海苔においては出荷量・出荷額ともに増加傾向でしたが減少に転じています。

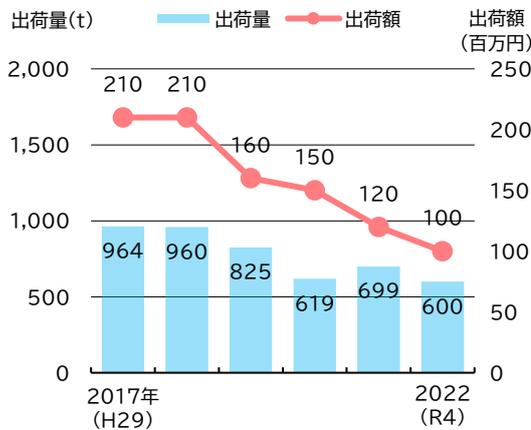
ミニトマト



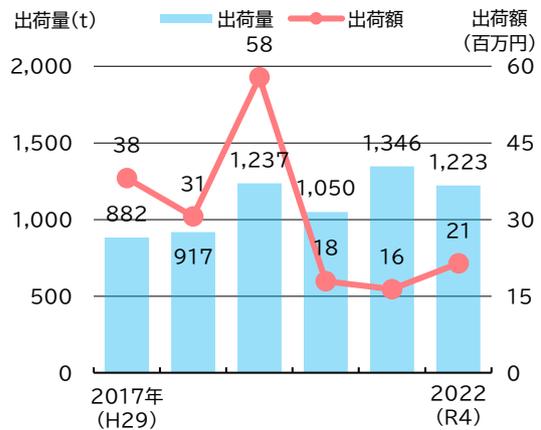
大豆



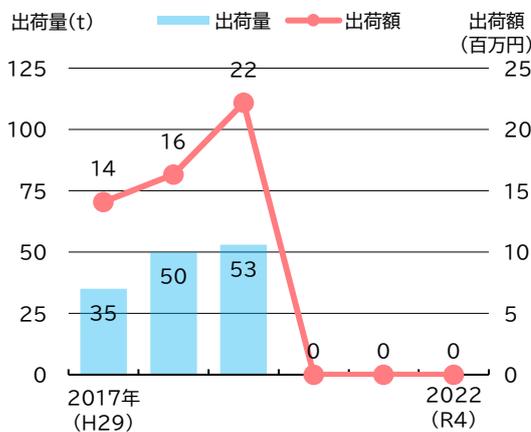
米



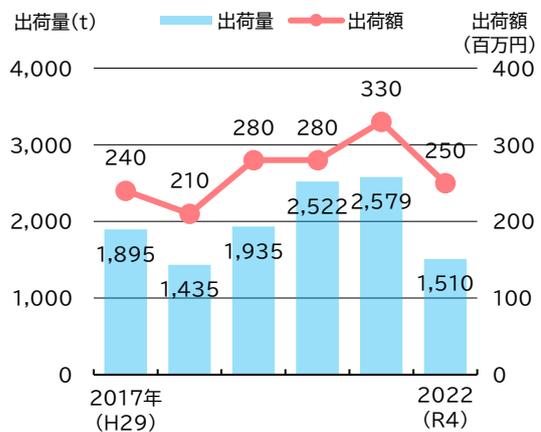
麦



あさり



海苔



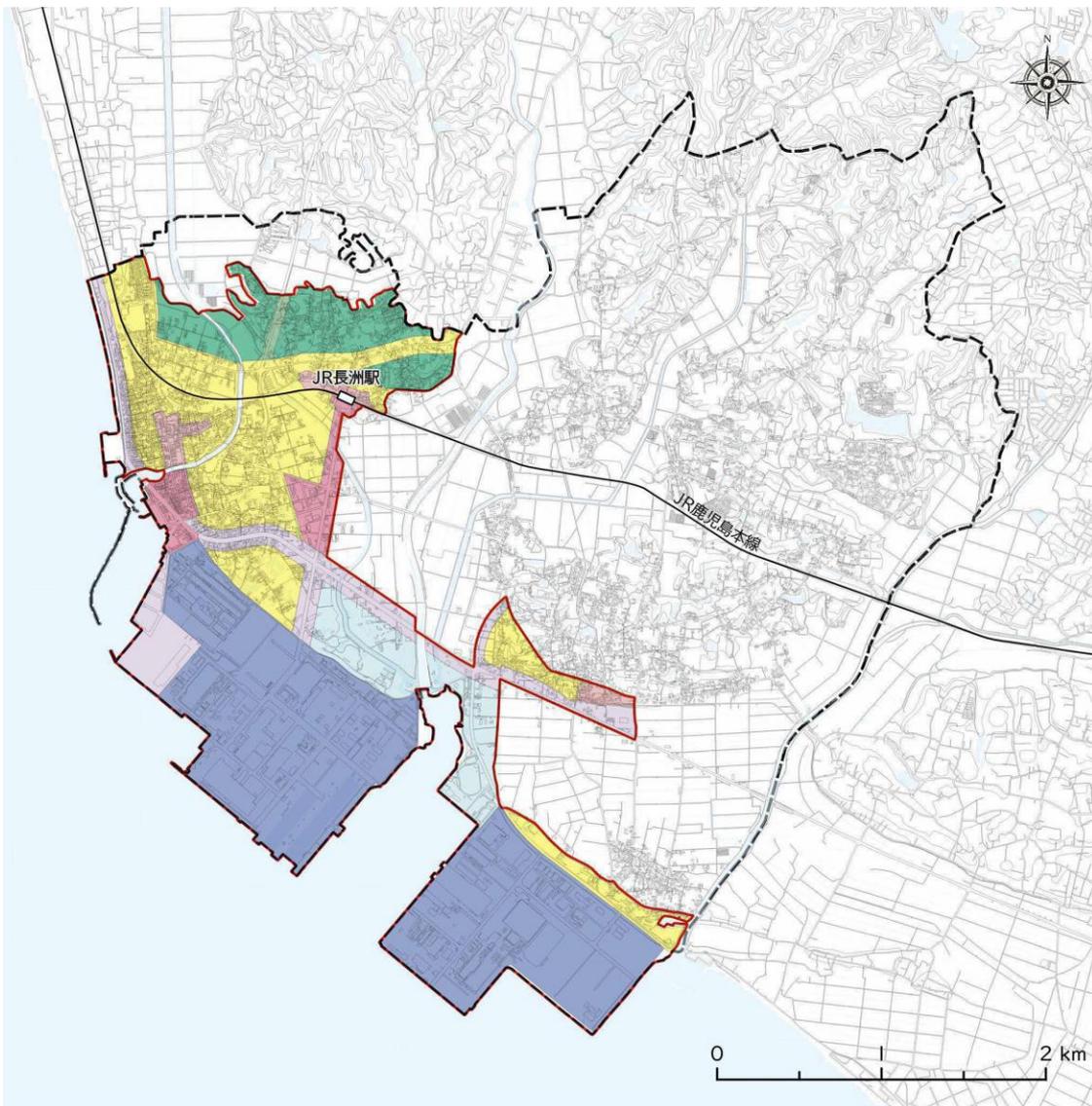
出典：長洲町

(2) 土地利用の状況

① 用途地域

- 工業系用途地域については、町南側の沿岸部一帯が工業専用地域に指定されているほか、国道 501 号南側の一部が工業地域、町西側の沿岸部と国道 501 号沿道が準工業地域に指定されています。
- 商業系の用途地域は JR 長洲駅周辺から南側に続く目抜き通りと長洲港周辺、腹赤小学校南側に指定されています。住居系の用途地域は JR 長洲駅西側一帯と腹赤小学校区の一部に指定されている状況です。

【用途地域の状況】



凡例

- 町域
- 用途地域界

用途地域

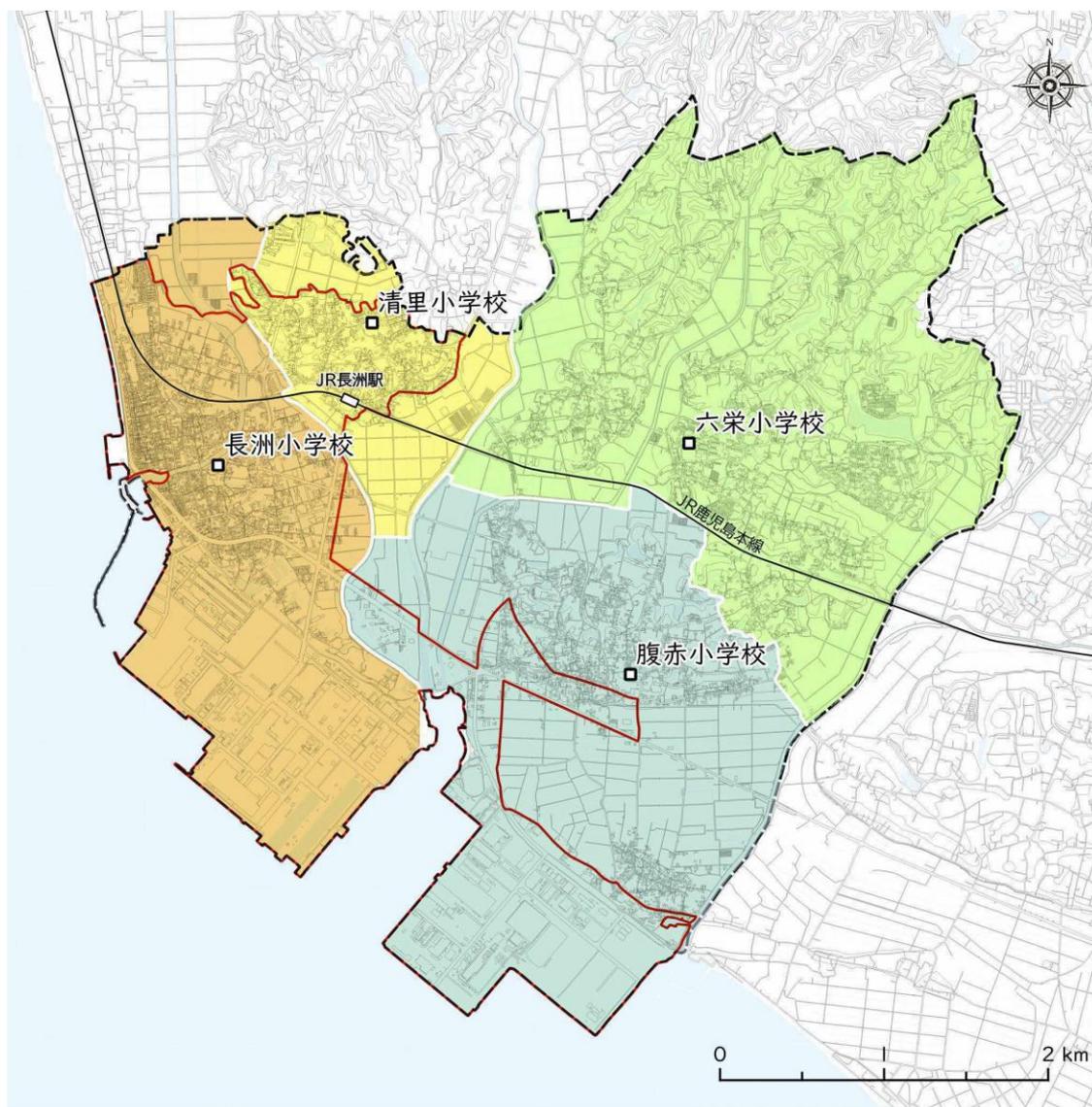
- 第一種低層住居専用地域
- 第一種中高層住居専用地域
- 第一種住居地域
- 近隣商業地域
- 商業地域
- 準工業地域
- 工業地域
- 工業専用地域

出典：都市計画基礎調査（令和 4 年）

②小学校区の状況

- 長洲小学校区、腹赤小学校区は有明海に面しており、清里小学校区は区内に JR 長洲駅が立地しています。
- また、六栄小学校区は用途地域外に広がっている状況です。

【小学校区の状況】

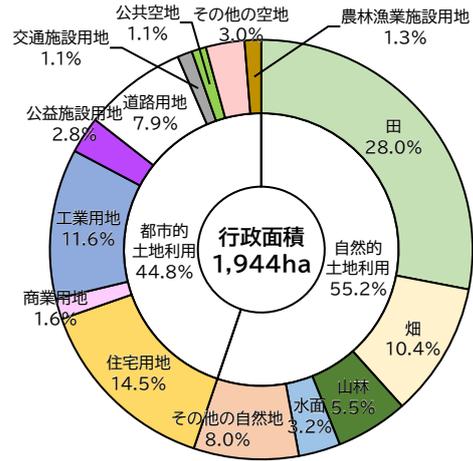


凡例	小学校区	
町域	清里小学校区	腹赤小学校区
用途地域界	長洲小学校区	六栄小学校区

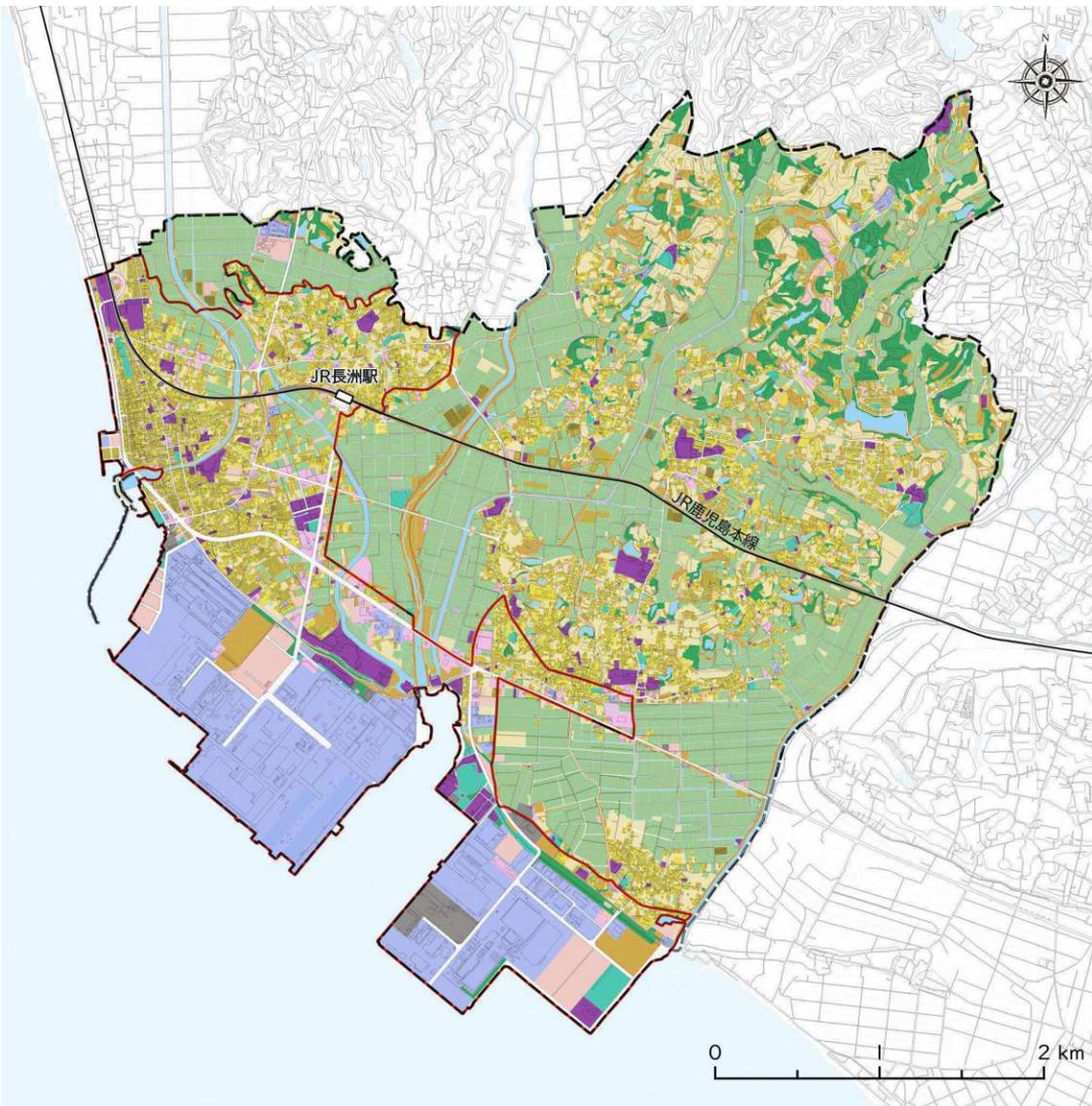
出典：国土数値情報

③土地利用の状況

- 本町の土地利用状況を見ると最も多いのは田であり、続いて住宅用地、工業用地となっています。
- 用途地域内の土地利用状況を見ると、JR長洲駅西側において、住宅・商業・公益施設用地が集積しているほか、町南側の沿岸部は工業・商業用地が集積している状況です。用途地域外においては田畑が多いものの、住宅・公益施設用地も散見されます。



【土地利用の状況】



凡例

- 町域
- 用途地域界

土地利用

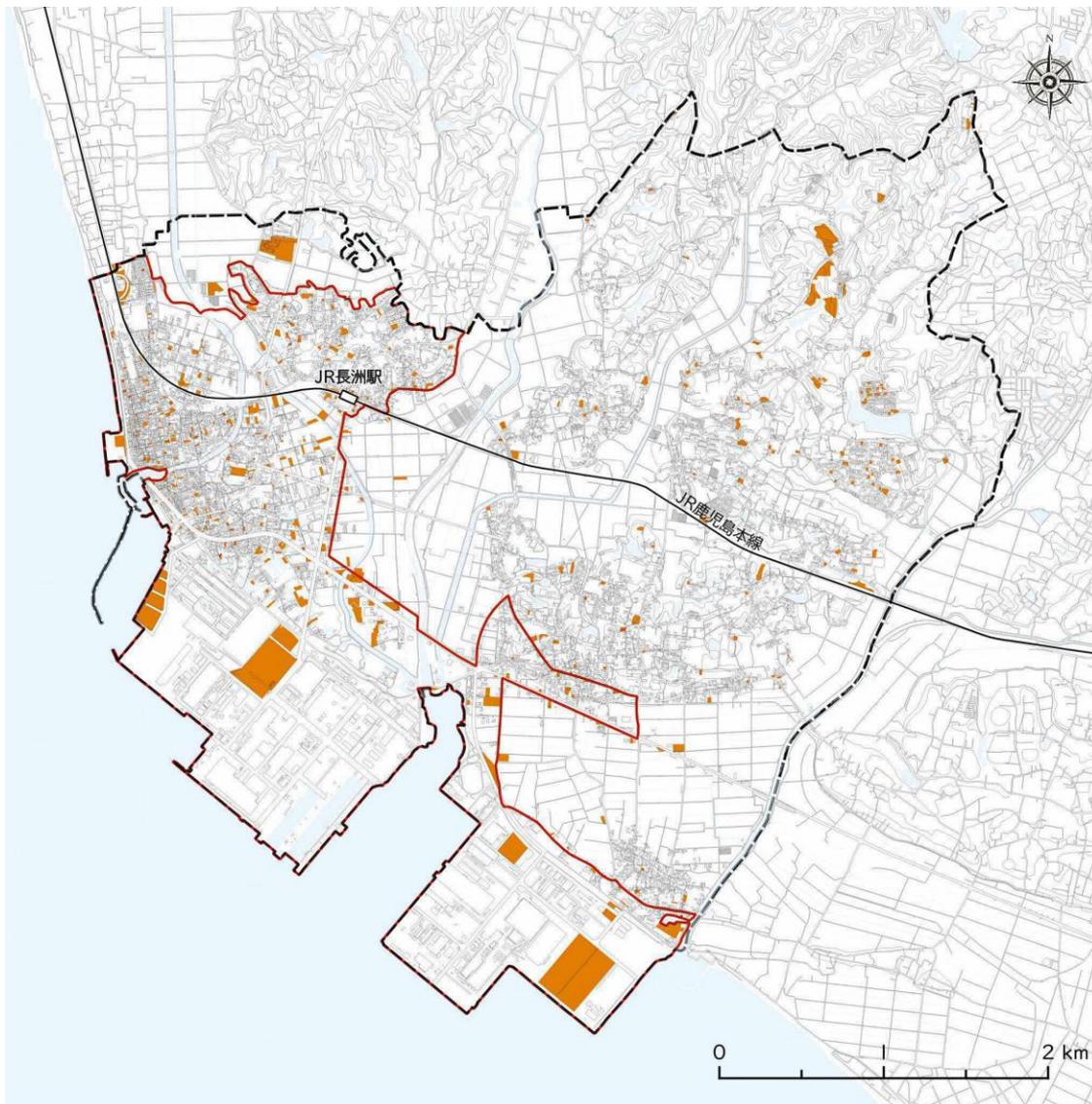
- | | | |
|---------|--------|----------|
| 田 | 住宅用地 | 交通施設用地 |
| 畑 | 商業用地 | 公共空地 |
| 山林 | 工業用地 | 農林漁業施設用地 |
| 水面 | 公益施設用地 | その他の空地 |
| その他の自然地 | 道路用地 | |

出典：都市計画基礎調査（令和4年）

④低未利用地の分布状況

- JR 長洲駅周辺や町北東部では、小・中規模の低未利用地が数多く見られ、JR 長洲駅南側や町南東部では沿岸部に大規模な低未利用地が見られます。

【低未利用地の分布状況】



凡例

--- 町域

— 用途地域界

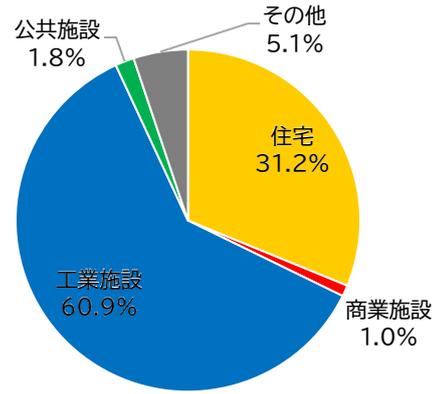
■ 低未利用地（土地利用現況における「その他の空地」）

※その他の空地には、未建築宅地、用途変更中の土地、屋外駐車場、資材置場、太陽光発電施設用地等が含まれます。

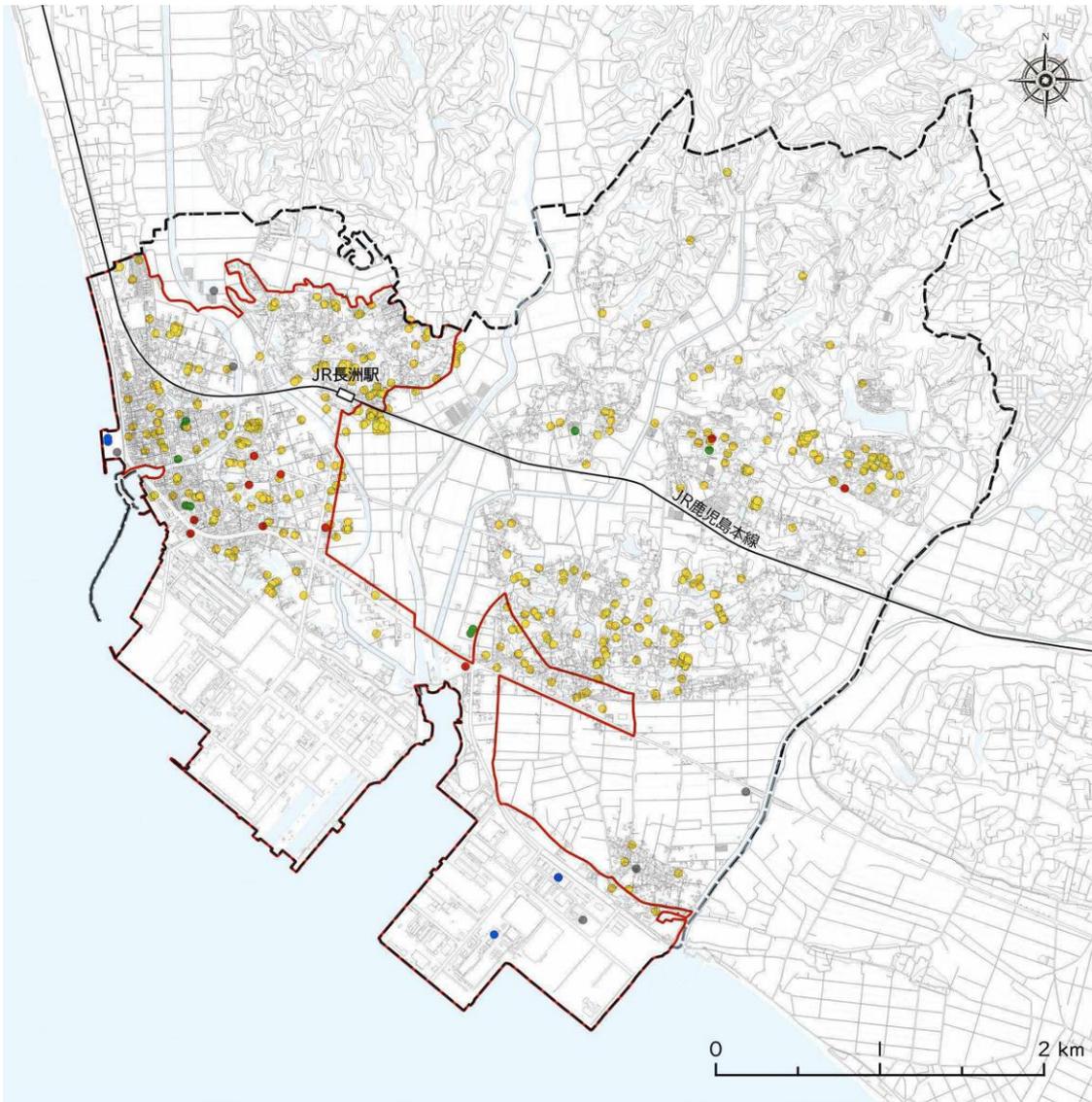
出典：都市計画基礎調査（令和4年）

⑤新築動向

- 2017年度から2021年度の新築における面積比率で最も多いのは工業施設、次いで住宅となっています。
- JR長洲駅の西側において、新築が多く見られ、用途地域外においても住宅がまとまって建設されている箇所が見られます。



【新築動向】

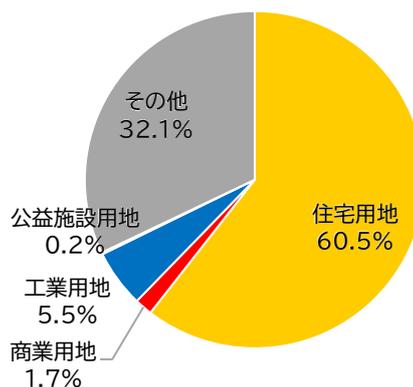


凡例		新築動向					
	町域		住宅		工業施設		その他
	用途地域界		商業施設		公共施設		

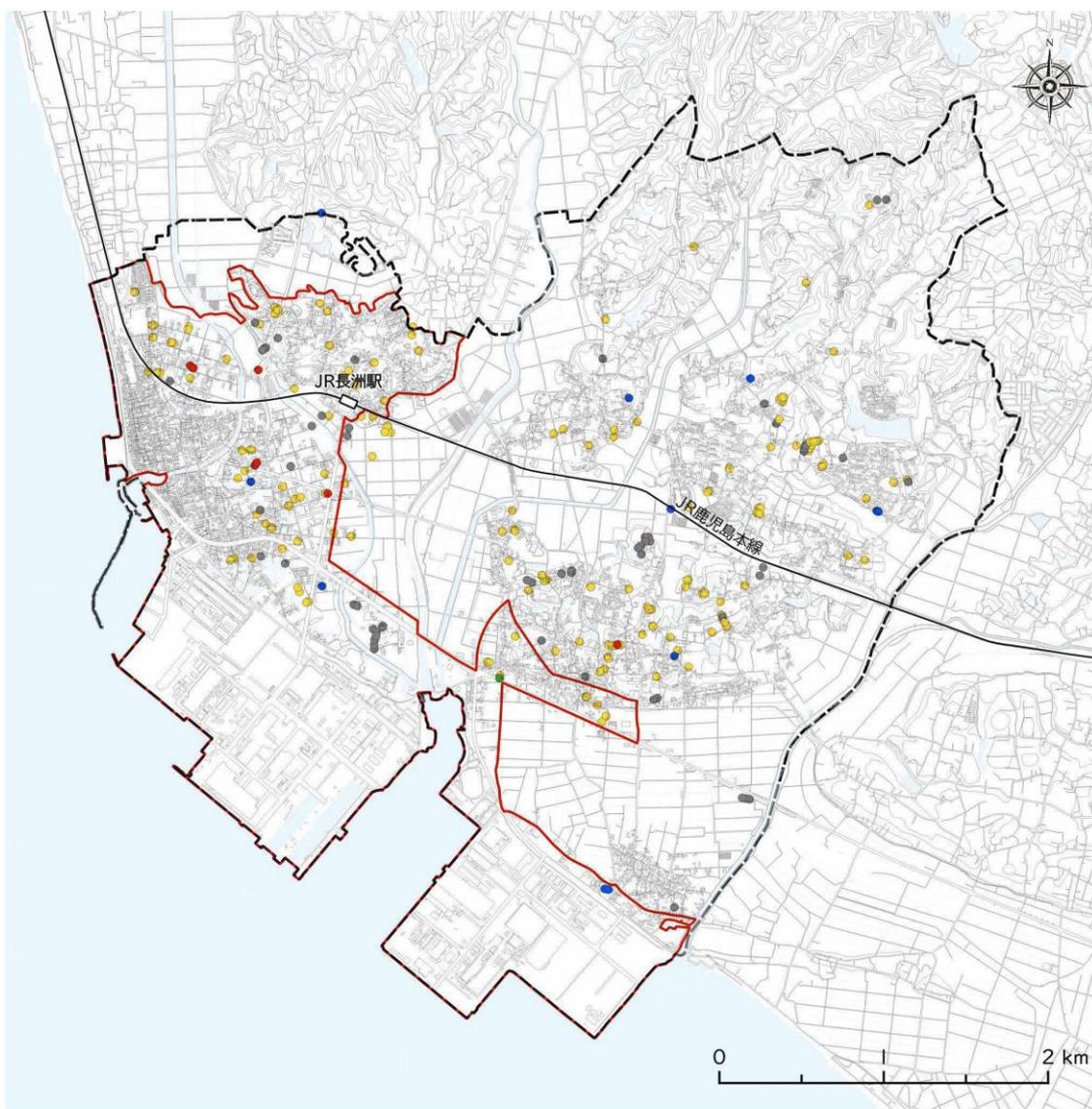
出典：都市計画基礎調査（令和4年）

⑥農地転用の状況

- 2017年度から2021年度の農地転用は沿岸部を除いた町全域で散見され、用途地域外においても住宅用地や工業・商業用地に転用された箇所が見られます。
- 転用後の土地利用は住宅用地が最も多く、全体の約6割を占めます。



【農地転用の状況】



凡例		農地転用					
	町域		住宅用地		工業用地		その他
	用途地域界		商業用地		公共施設用地		

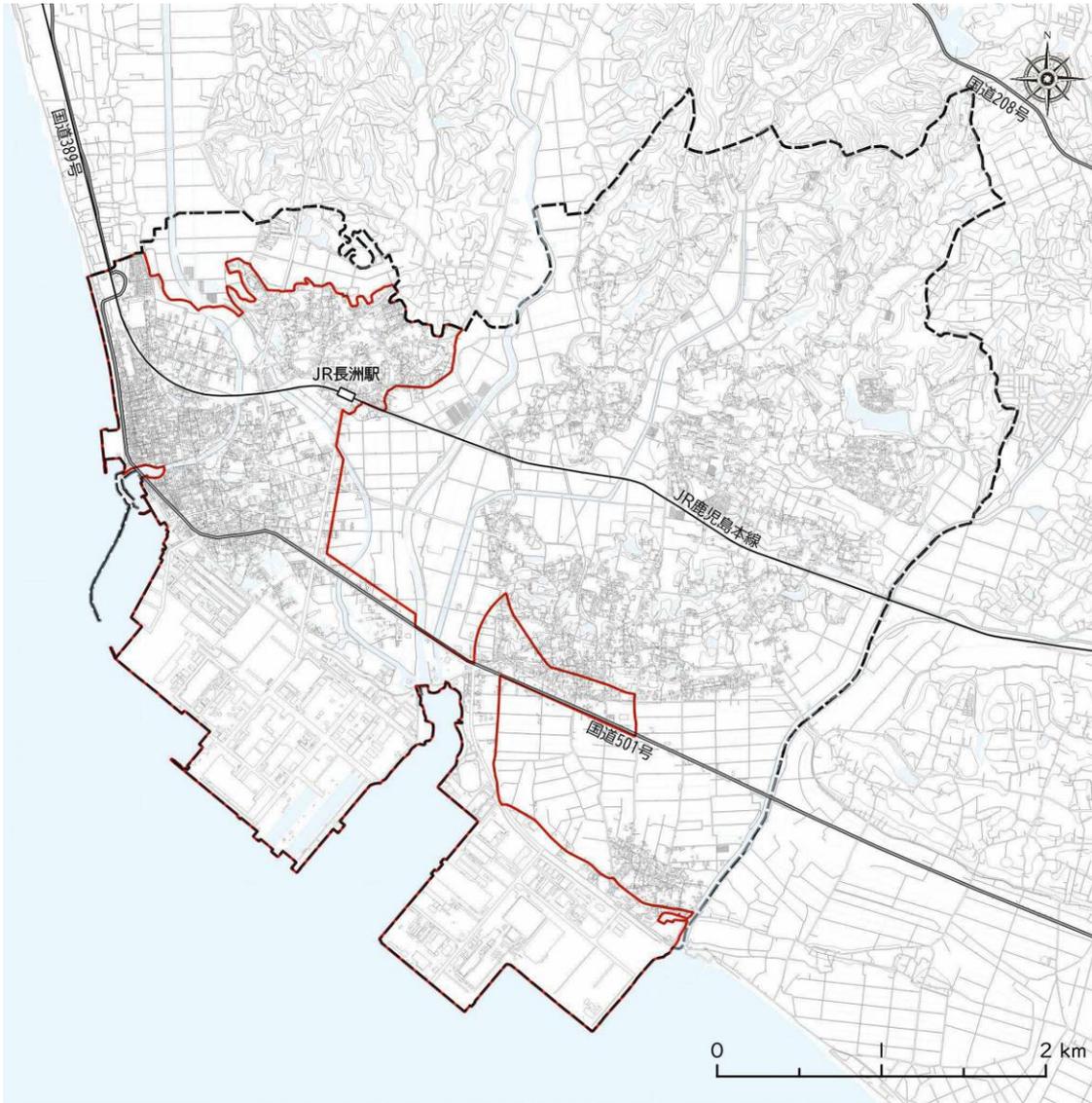
出典：都市計画基礎調査（令和4年）

(3) 公共交通の状況

① 鉄道の整備状況と利用者数の推移

- 町内には JR 長洲駅が整備されており、鹿児島本線が上下線合わせて、一日 62 本 (2022 年 9 月 23 日改正) 走っています。
- 一日の利用者数は 2011 年度から 2019 年度にかけて乗車人員 750 人前後で推移していましたが、2020 年度は 525 人と急激に減少しています。

【鉄道の整備状況】

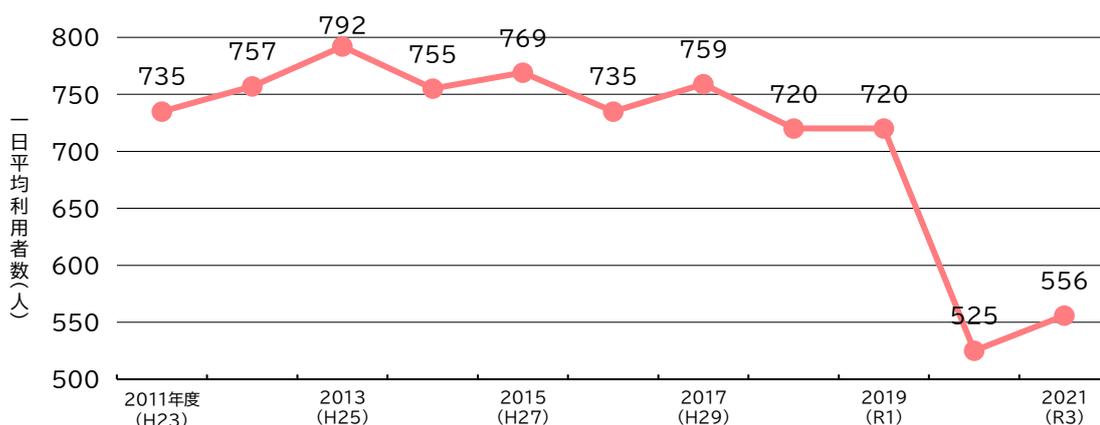


凡例

- 町域
- 用途地域界

出典：国土数値情報

【JR 長洲駅における一日の平均乗員数の推移】

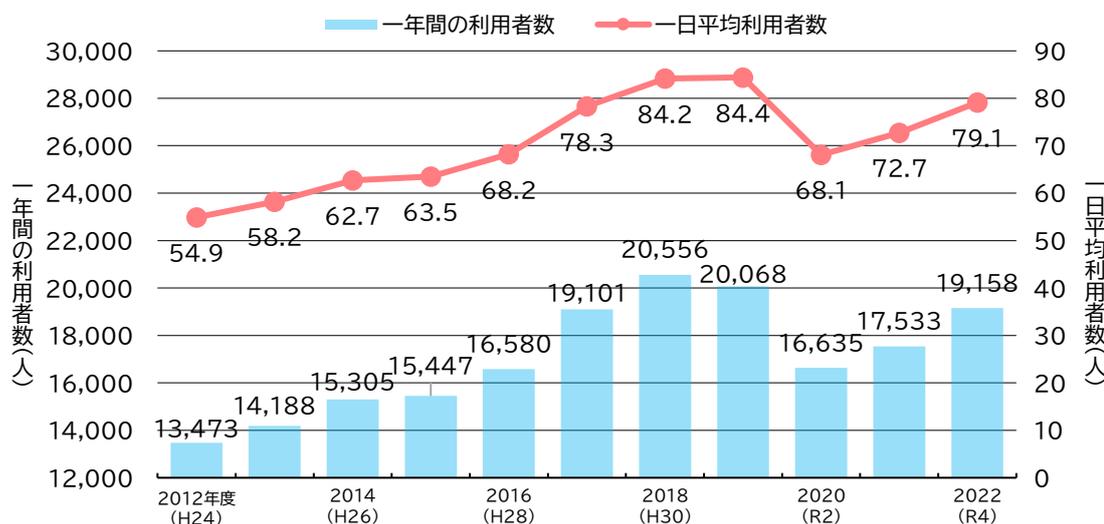


出典：長洲町、JR九州のホームページ

②きんぎょタクシー（乗合交通）の運行状況

- 利用者数は 2012 年度から 2018 年度にかけて増加していましたが、2018 年度をピークに減少しています。一日平均利用者数は全体として増加傾向にありますが、2020 年度は減少しています。
- 利用場所が最も多いのは荒尾市のゆめタウンシティモールであり、町内では JR 長洲駅、次いで健康福祉センターの利用回数が多く見られます。時間帯別平均利用者数では、10 時と 15 時の利用者数が多い状況です。

【きんぎょタクシーの利用者推移】

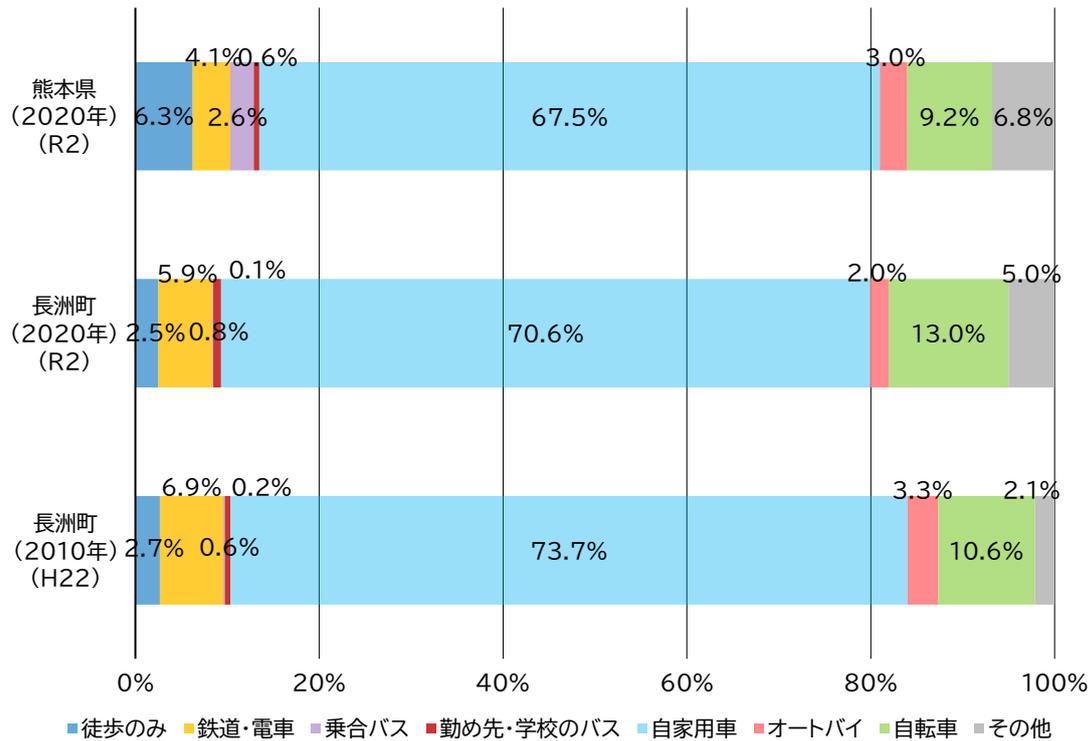


出典：長洲町

③交通分担率の状況

- 2010年時点と2020年時点の町の交通分担率（それぞれの交通手段がどれくらい利用されているかを示す割合）を比較すると、自転車を利用する割合が2.4%増加し、自家用車を利用する割合が3.1%減少しています。
- 2020年時点の熊本県と町の交通分担率を比較すると、町は徒歩のみが2.5%、乗合バスが0.1%と熊本県に比べて利用割合が少なく、自家用車が70.6%、自転車が13.0%と熊本県に比べて利用割合が高くなっています。

【長洲町・熊本県の交通分担率の状況】



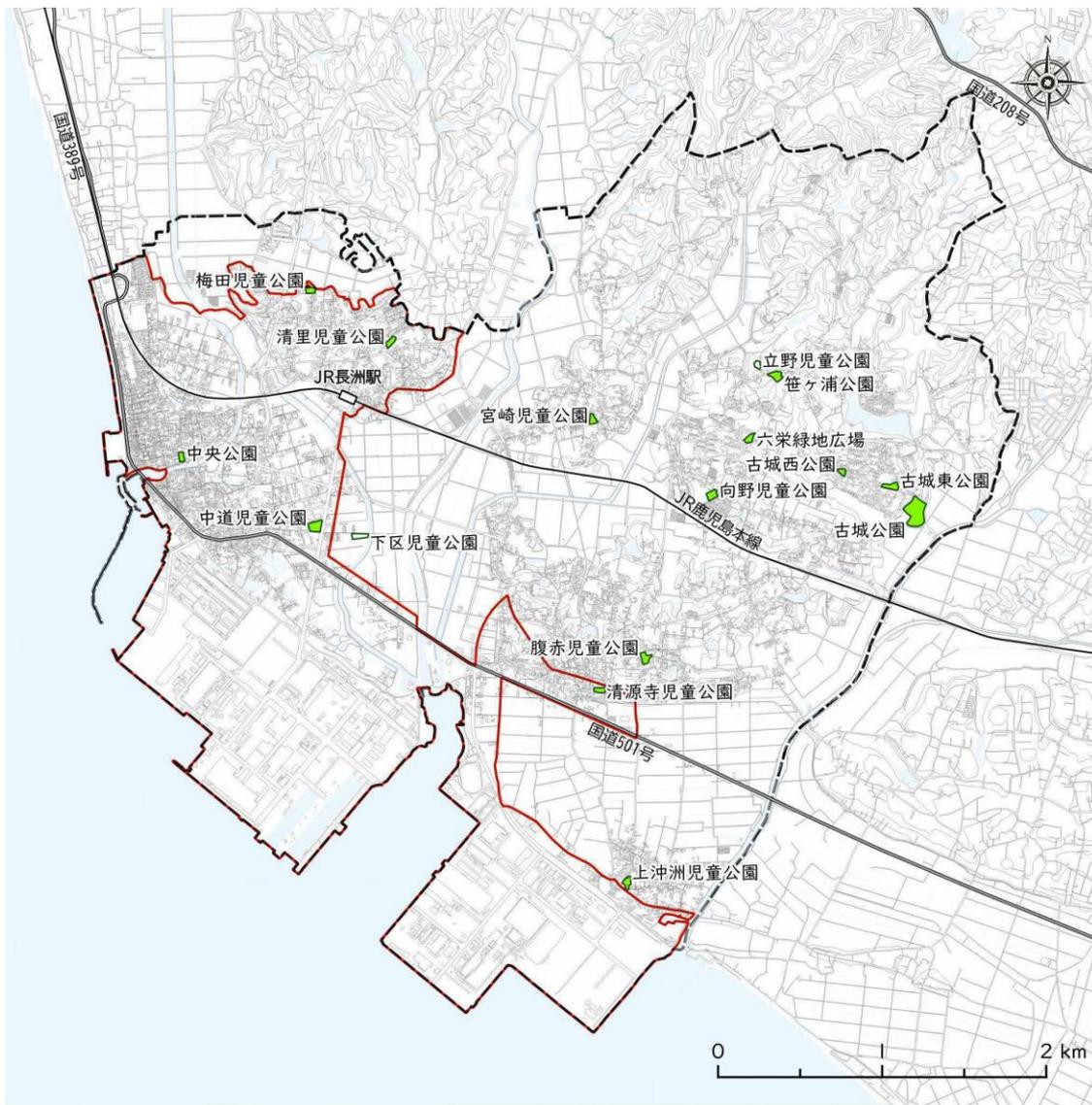
出典：国勢調査

(4) 都市基盤の整備状況

① 都市計画公園の整備状況

- 14箇所都市計画公園が整備済みとなっており、公園は内陸部に分散して立地している状況です。

【都市計画公園の立地分布】



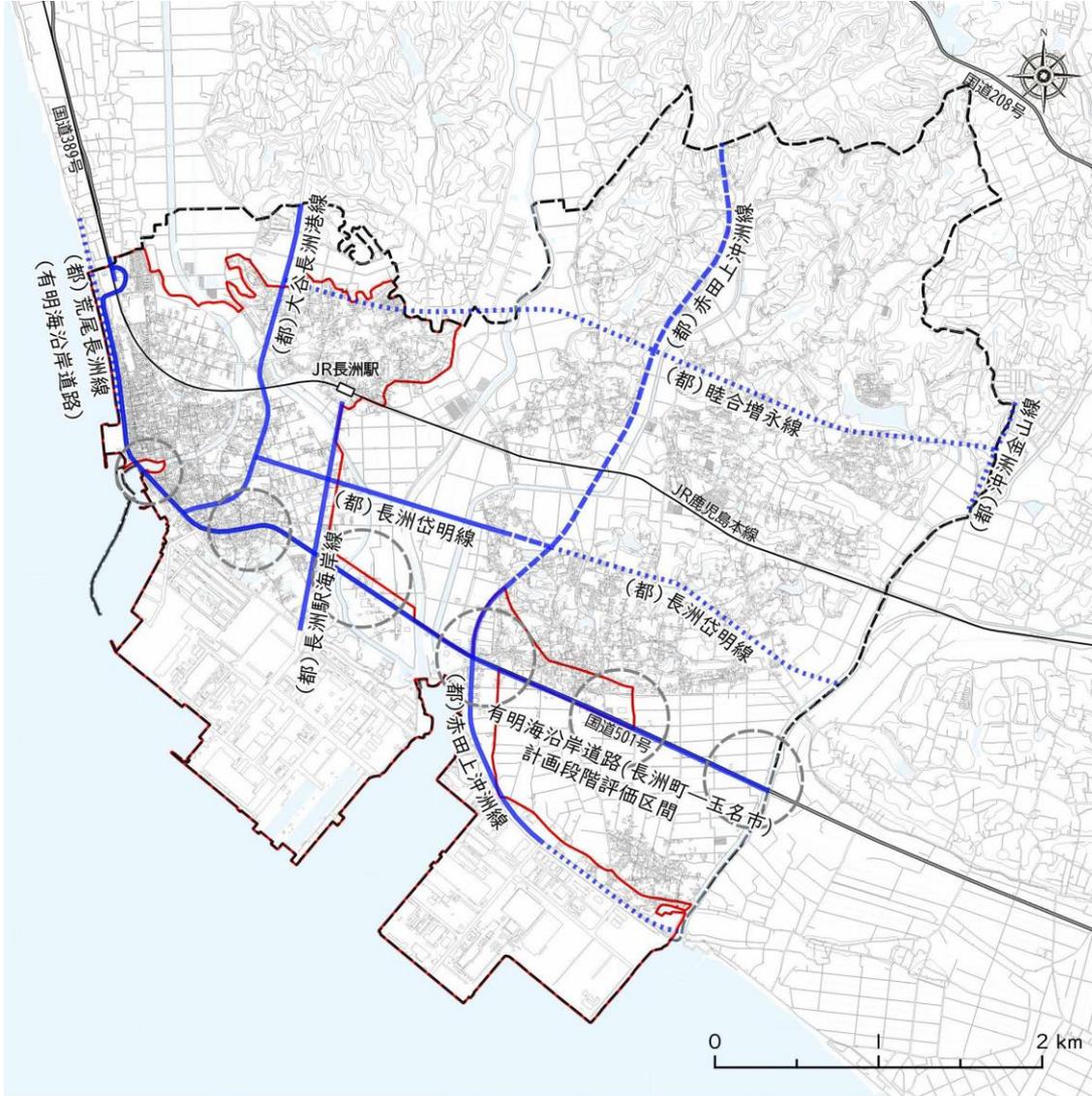
凡例	都市計画公園
<div style="display: inline-block; border: 1px dashed black; width: 15px; height: 10px; margin-right: 5px;"></div> 町域	<div style="display: inline-block; background-color: #90EE90; width: 15px; height: 10px; margin-right: 5px;"></div> 整備済
<div style="display: inline-block; border: 1px solid red; width: 15px; height: 10px; margin-right: 5px;"></div> 用途地域界	<div style="display: inline-block; border: 1px solid black; width: 15px; height: 10px; margin-right: 5px;"></div> 未整備

出典：都市計画基礎調査（令和4年）

②都市計画道路の整備状況

- JR 長洲駅南側においては、大部分の都市計画道路が整備済みとなっており、町東側や北側の都市計画道路は現在事業中または計画となっています。

【都市計画道路の整備状況】



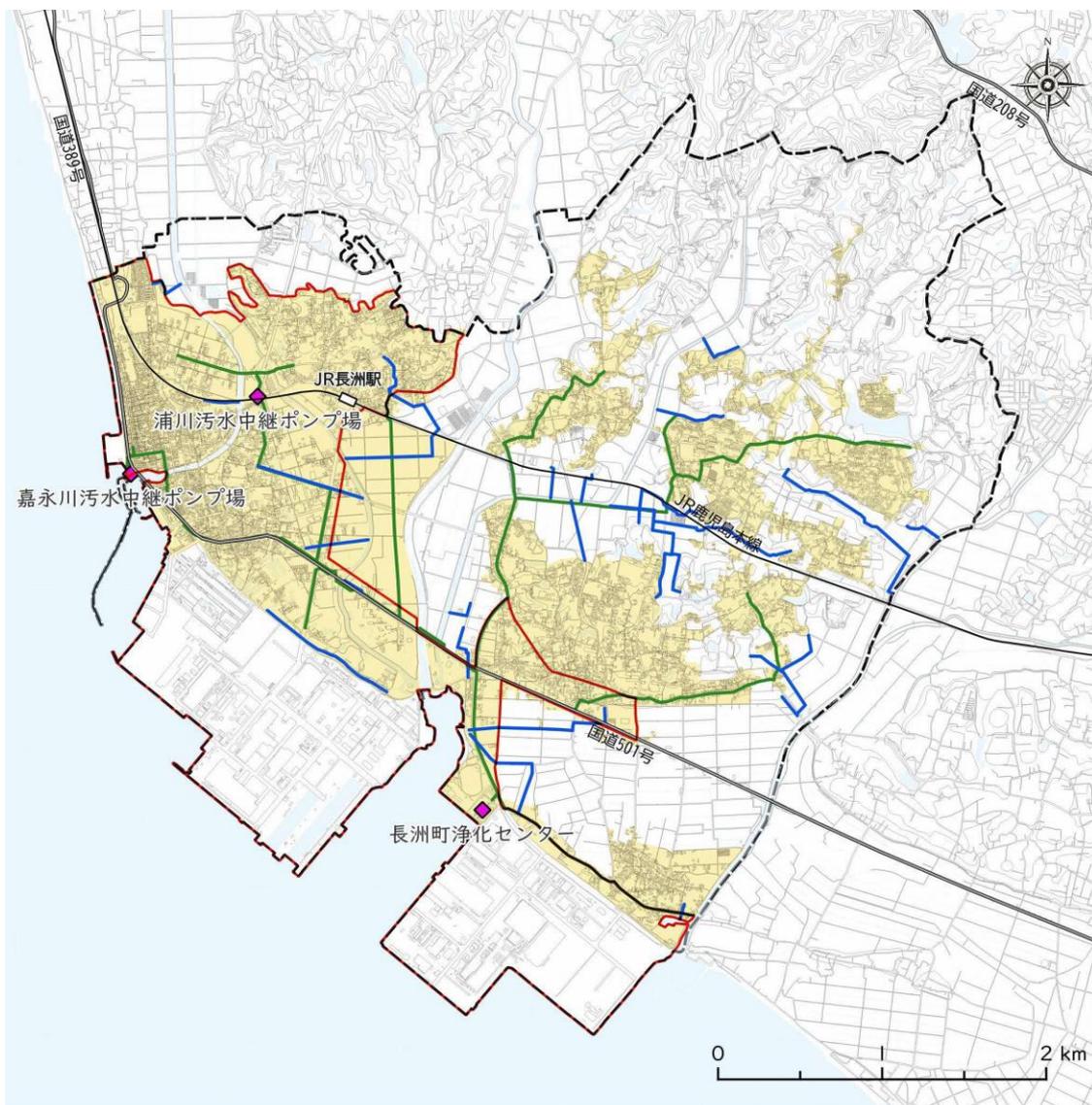
凡例	都市計画道路
町域	整備済
用途地域界	事業中
	計画中

出典：都市計画基礎調査（令和4年）

③排水処理施設の整備状況

- 排水処理施設は建築物が集中して立地している地区におおむね整備されています。

【排水処理施設の整備状況】



凡例		公共下水道	
	町域		雨水幹線
	用途地域界		汚水幹線
			排水区域
			排水処理施設

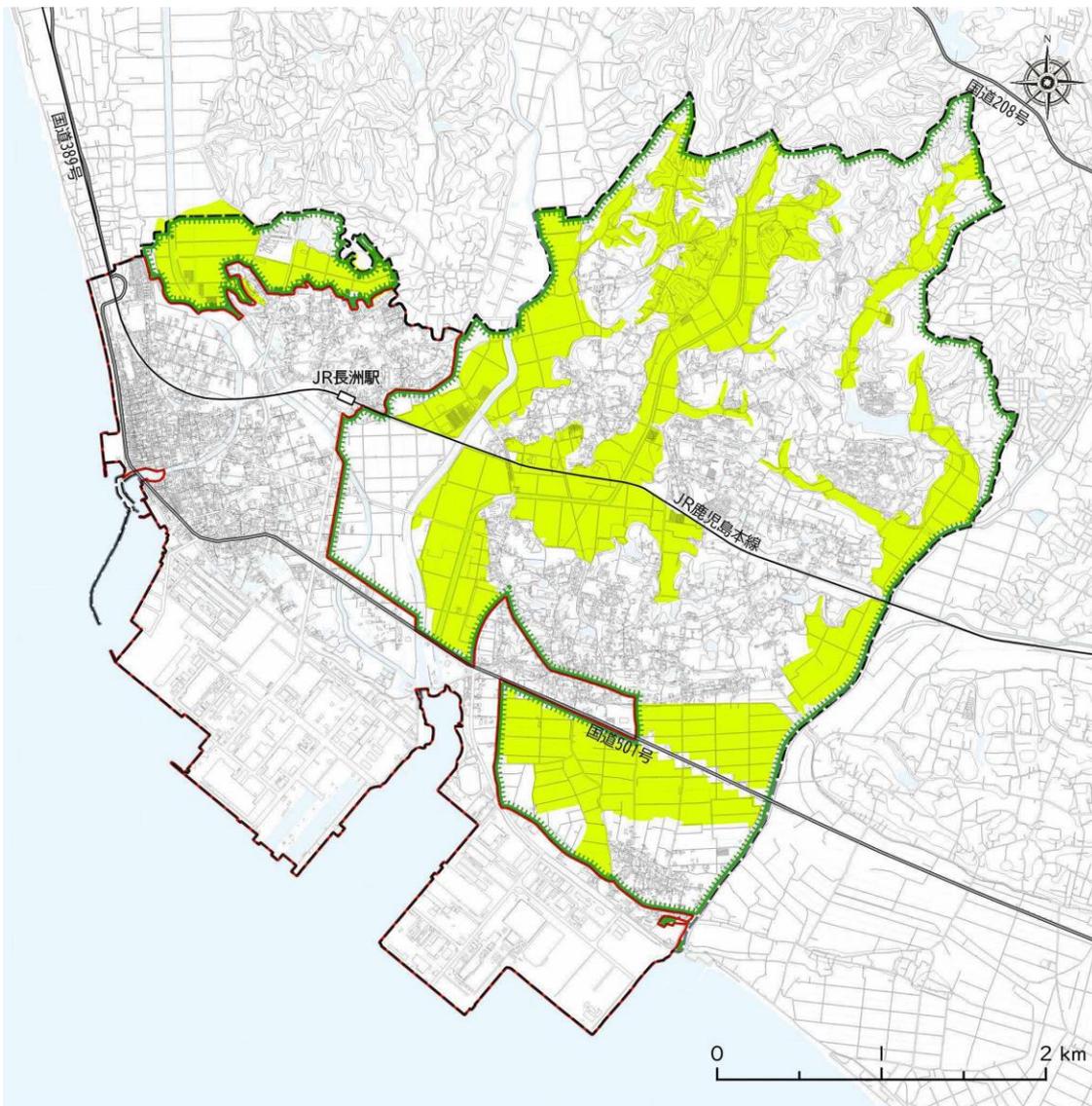
出典：都市計画基礎調査（令和4年）

(5) その他法規制の状況

① 農業振興地域・農用地区域

- 町内の広い範囲に農業振興地域、農用地区域が指定されています。特に JR 長洲駅東側に農業振興地域が広がっており、農用地区域も多く見られます。
- 農業振興地域内において、農用地区域（農業上の利用を確保すべき土地）および農用地区域外でも一定の広がりのある優良農地である第 1 種農地などは原則、農地転用をすることができないこととされており、宅地など他の用途に転用するためにはいくつかの厳しい条件を満たし都道府県知事の許可を得る必要があります。

【農業振興地域・農用地区域の状況】



凡例

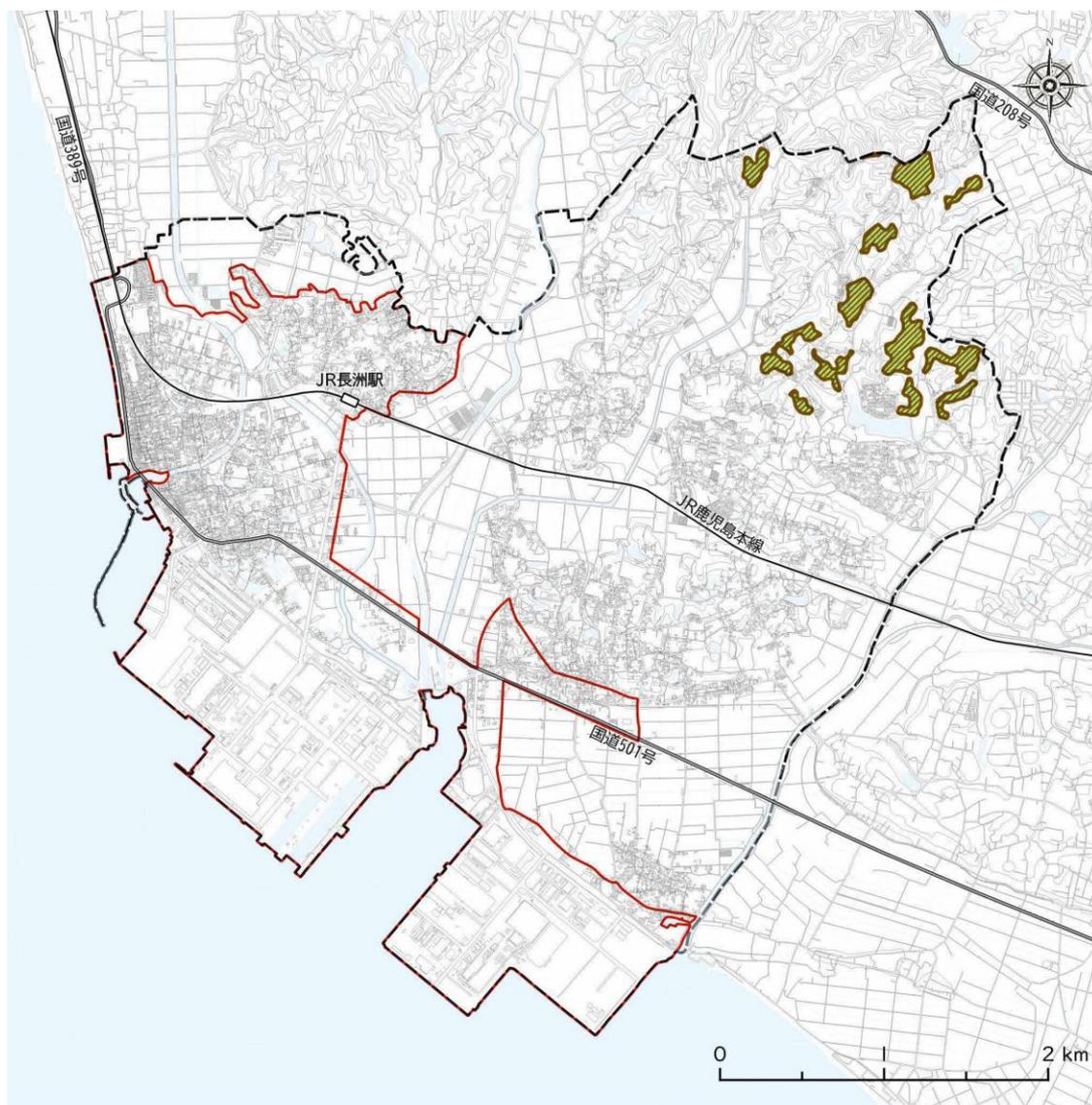
- | | |
|-------|--------|
| 町域 | 農業振興地域 |
| 用途地域界 | 農用地 |

出典：都市計画基礎調査（令和 4 年）

②地域森林計画対象民有林・保安林

- 町北東部には森林区域かつ地域森林計画対象民有林に指定されている箇所が散見されますが、保安林の指定はされていない状況です。
- 地域森林計画対象民有林や保安林の指定区域で立木の伐採や開発行為を行う際には熊本県や町に手続き等を行う必要があります。

【地域森林計画対象民有林・保安林の状況】



凡例

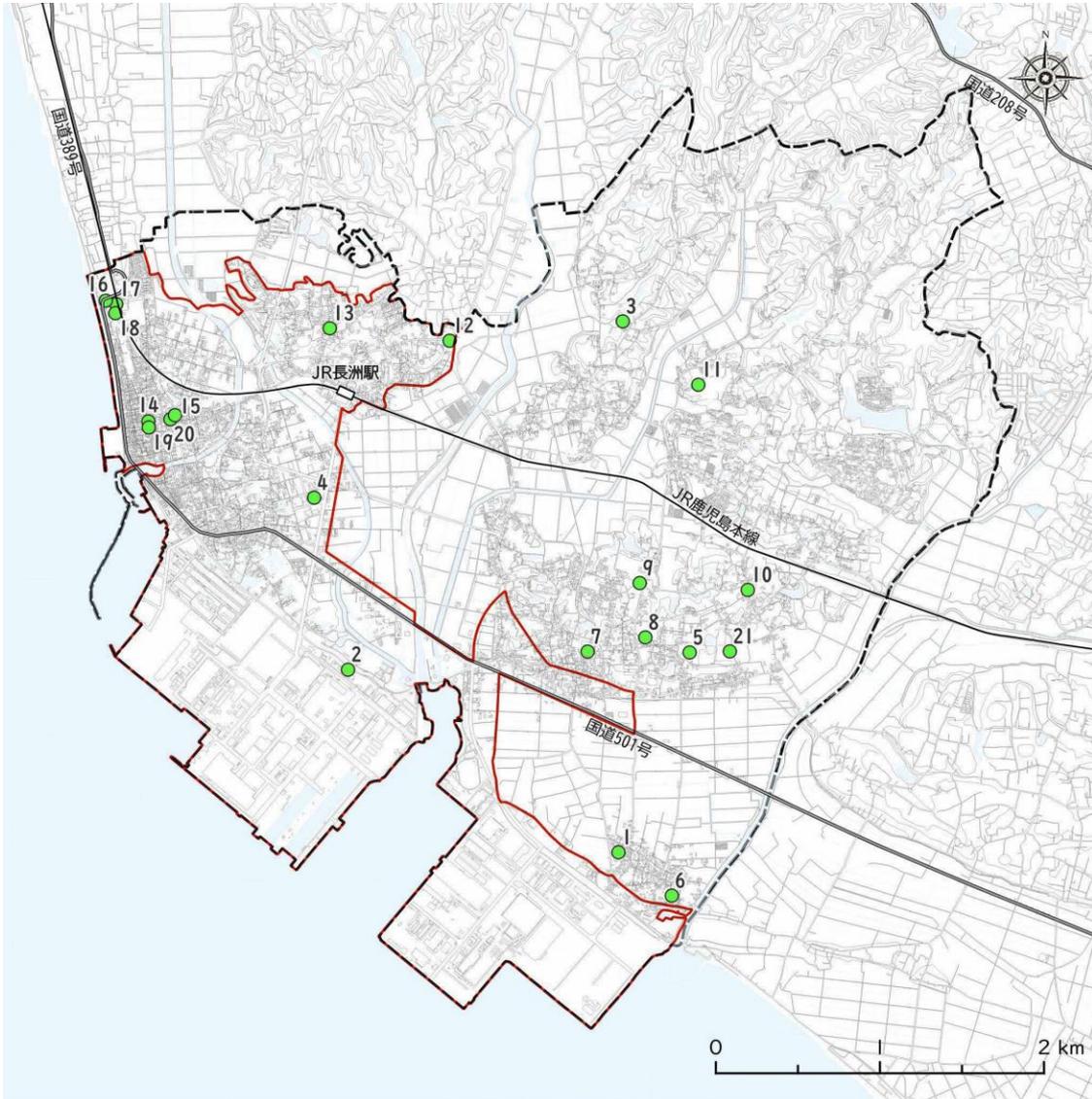
- | | |
|---|---|
|  町域 |  森林区域 |
|  用途地域界 |  地域森林計画対象民有林 |

出典：国土数値情報

③指定文化財の立地状況

- 町内にある文化財のうち、重要なものがその保存・活用のため、町の指定文化財に指定されています。

【指定文化財の立地状況】



凡例

- 町域
- 用途地域界
- 指定文化財

NO.	文化財	文化財 指定時期	分類
1	古庄文書	H15.5.1	有形
2	新塘	S51.3.1	有形
3	関文書	S58.4.26	有形
4	長洲嫁入り唄	S57.5.1	無形(民俗)
5	御腰の石	S51.3.1	有形
6	放牛地蔵	S51.3.1	有形
7	清源寺天満宮の神楽	S51.3.1	無形(民俗)
8	腹赤天満宮の神楽・楽	S51.3.1	無形(民俗)
9	立花宗茂公夫人の墓 (ぼたちさん)	S56.5.1	有形
10	折地のカイカイ人形	S51.3.1	無形(民俗)

NO.	文化財	文化財 指定時期	分類
11	六栄小ケヤキ	S61.3.1	天然
12	二宮八幡宮の鰐口	H15.5.1	有形
13	梅田天満宮玉藤群	S52.12.5	天然
14	六地藏石幢	S51.3.1	有形
15	四王子神社の石造狛犬	H20.4.4	有形
16	古墳改葬之碑	S51.3.1	有形
17	海難碑	S51.3.1	有形
18	救援隊並びに遭難者之碑	S51.3.1	有形
19	明德碑	S51.3.1	有形
20	破魔弓祭(的ばかい)	S51.3.1	無形(民俗)
21	関忠之允の墓	R4.1.26	有形

出典：都市計画基礎調査（令和4年）、国土数値情報

④ 景観構成要素の立地状況

● 町沿岸部では、長洲港やゴライアスクリーンなど魅力的な景観が形成されています。

【景観構成要素の立地分布】



凡例

--- 町域

— 用途地域界

● 景観構成要素

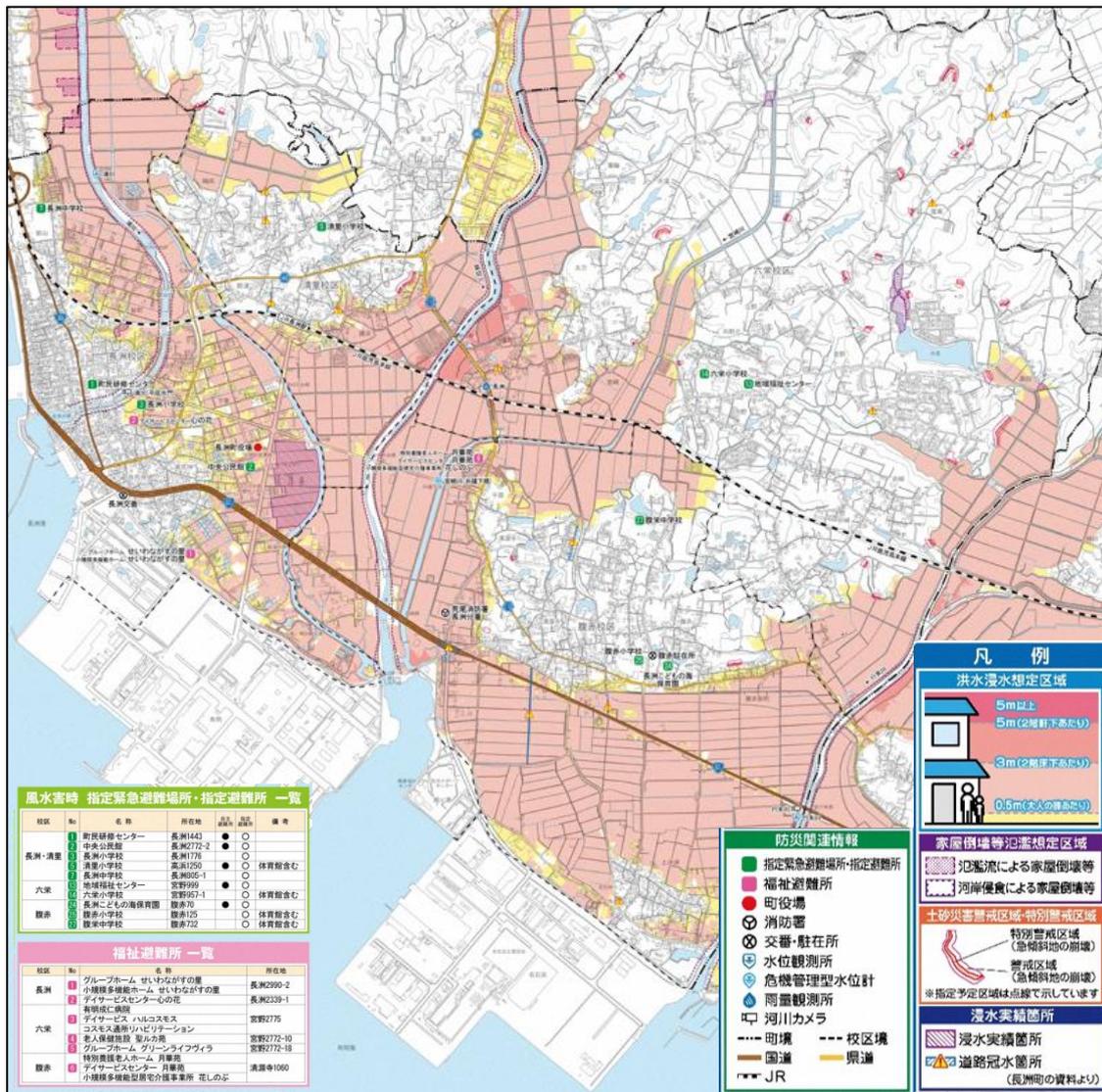
0 1 2 km

(6) 災害リスクの指摘されているエリアの状況

①洪水・土砂災害ハザードマップ

- 町を縦断する菜切川や浦川といった河川周辺、並びに河ロ一帯のエリアが、0.5m～3m規模の洪水浸水想定区域に指定されています。
- 土砂災害警戒区域並びに特別警戒区域に指定されたエリアは少なく、町北東部に散見されるのみとなっています。

【洪水・土砂災害ハザードマップ】

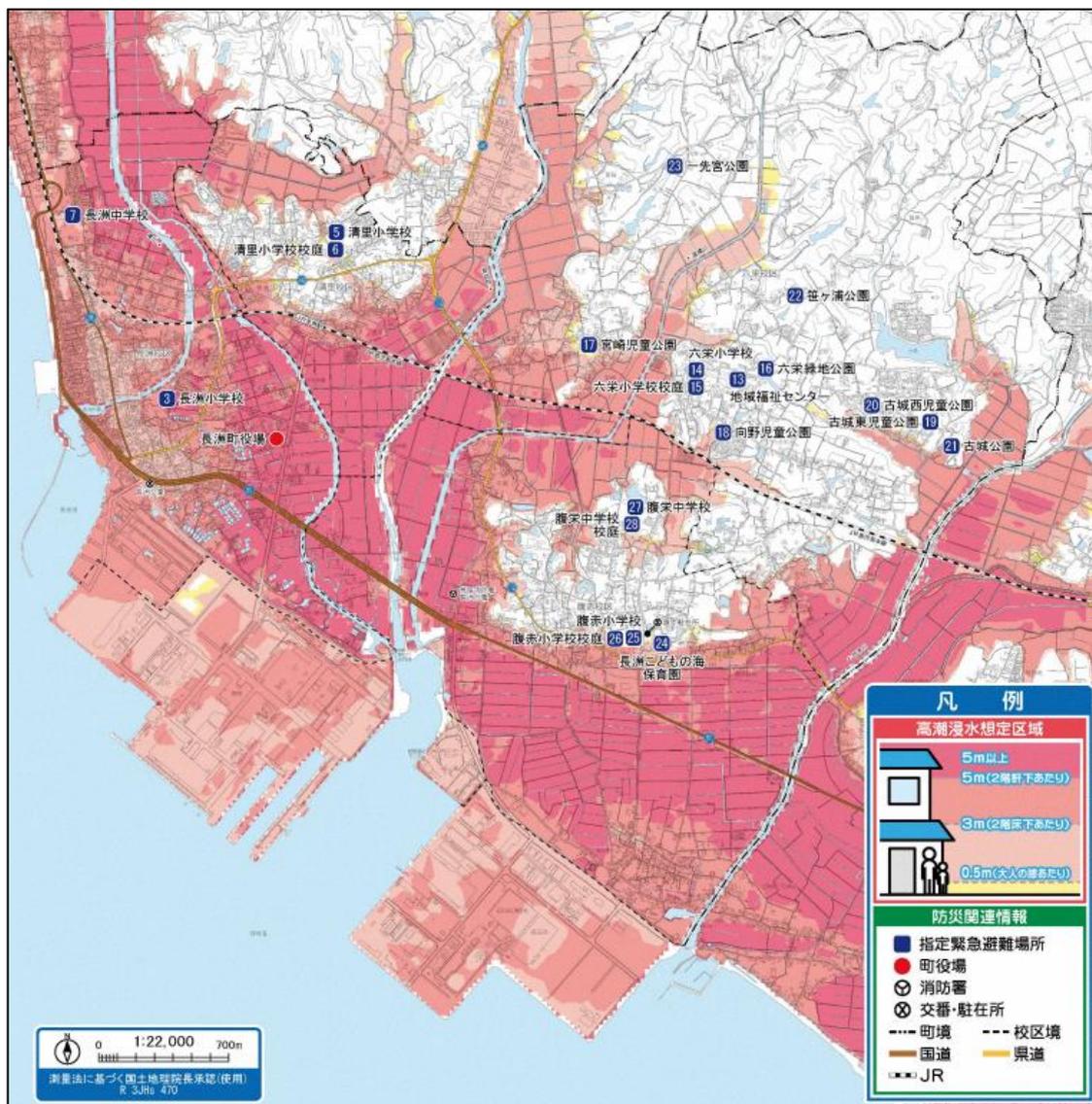


出典：長洲町総合防災マップ

②高潮ハザードマップ

- 沿岸部だけでなく、河ロ一帯が高潮浸水想定区域に指定されており、特に長洲町役場周辺地区は5m以上の高潮浸水が想定されています。
- 長洲小学校区では、指定緊急避難場所が高潮浸水想定区域に指定されているため、特に配慮が必要な状況となっています。

【高潮ハザードマップ】

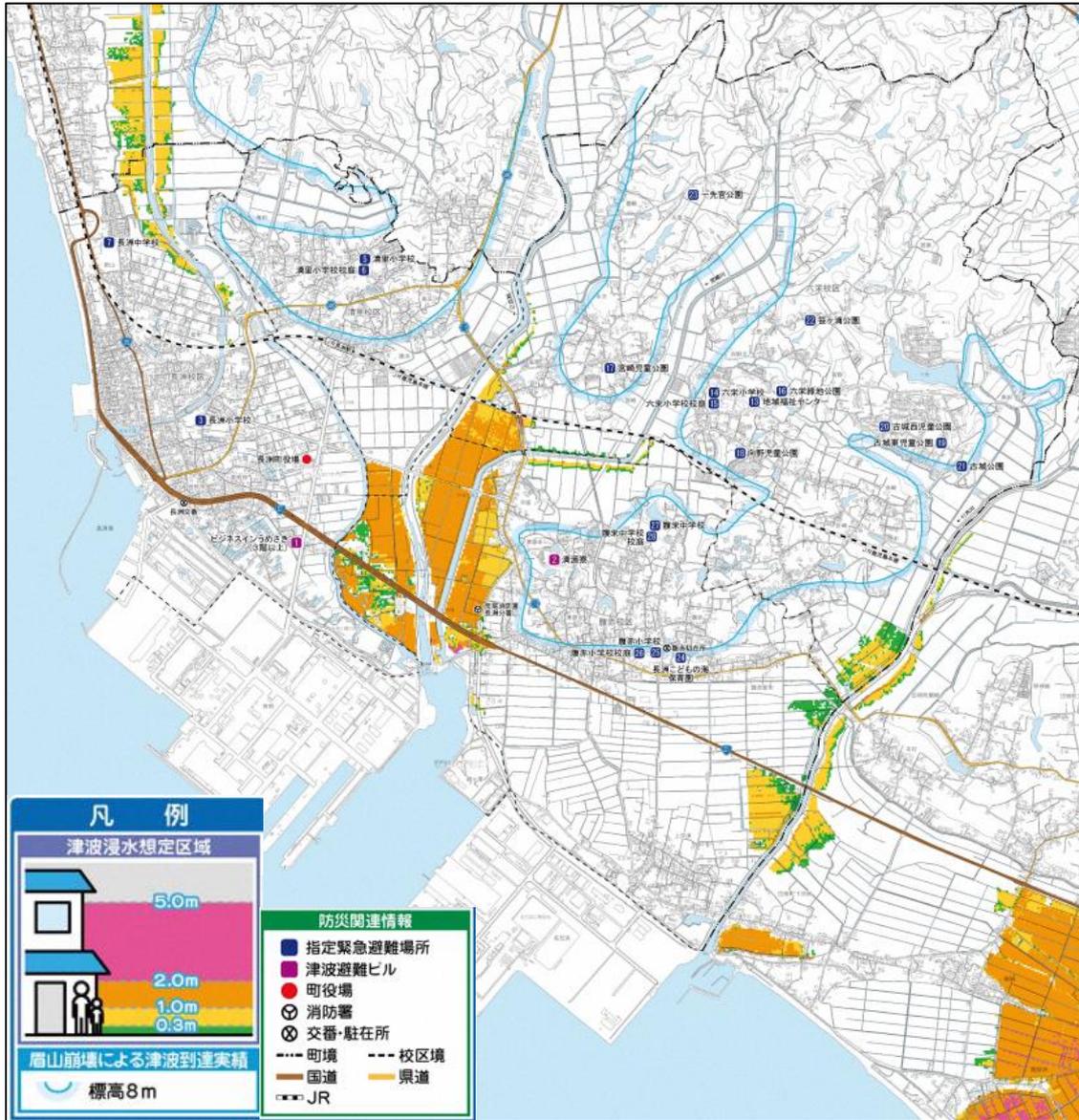


出典：長洲町総合防災マップ

③津波ハザードマップ

- 菜切川の河口一帯が 1m～2m規模の津波浸水想定区域に指定されており、菜切川河口から最寄りの津波避難ビルまで約 500mの距離があります。
- 沿岸部は、津波浸水想定区域に指定されていない状況です。

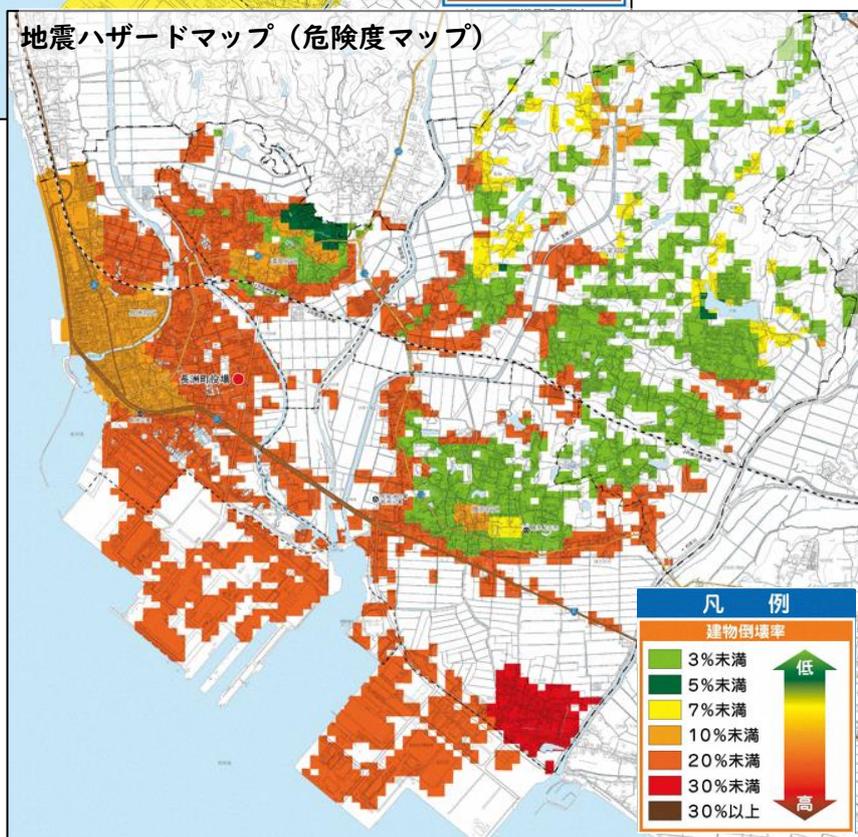
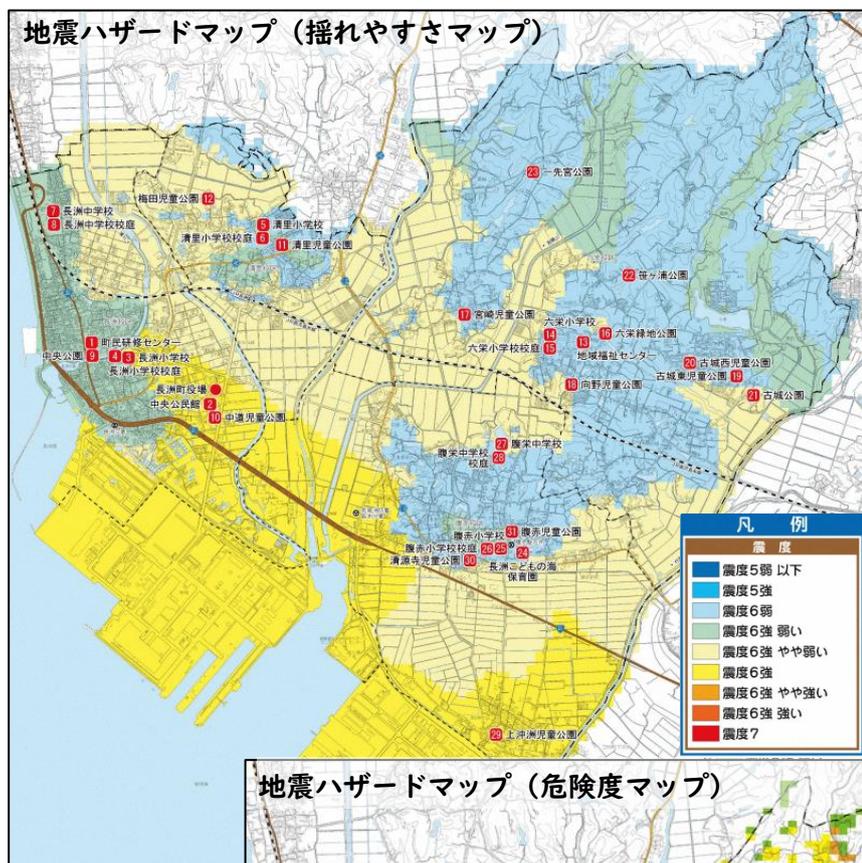
【津波ハザードマップ】



出典：長洲町総合防災マップ

④地震ハザードマップ

- 沿岸部は、町内で最も高い震度6強と予想されており、震度6強の範囲内には、長洲町役場や中央公民館、長洲小学校が含まれています。
- 沿岸部や平野部において、建物倒壊率が高い値となっており、長洲町役場周辺においても、建物倒壊率が比較的高く、建物倒壊による道路の閉塞等が予想されます。



出典：長洲町総合防災マップ

2-5. 町民意向

(1) アンケート調査の概要

①調査対象

- 無作為抽出した 18 歳以上の長洲町民 1,500 人

②調査期間

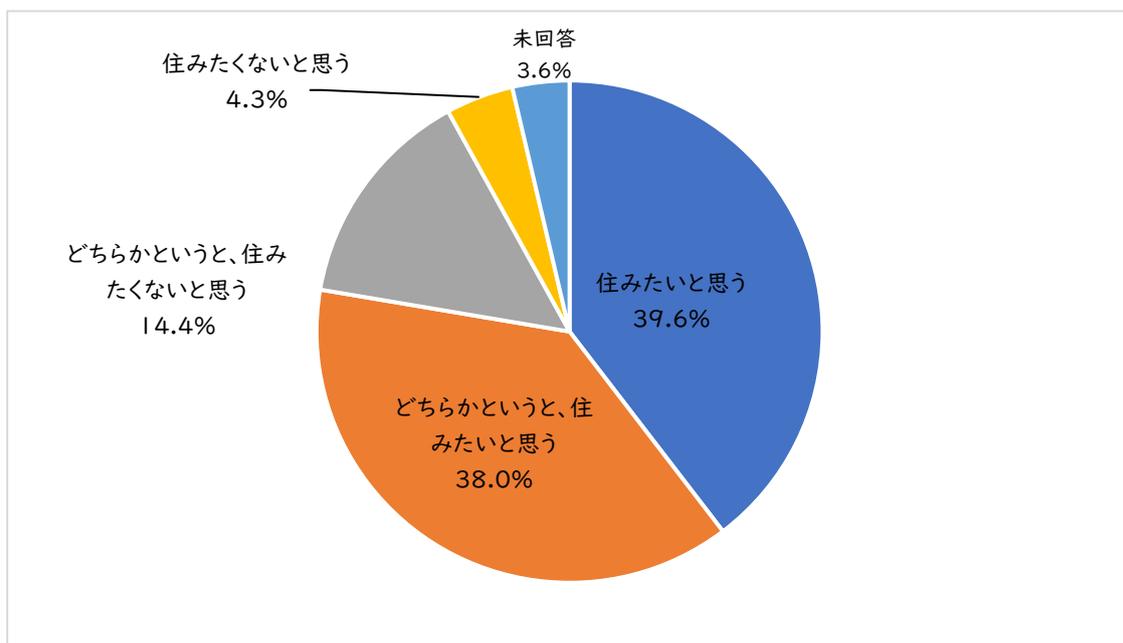
- 令和 4 年 7 月 20 日～9 月 26 日

③回収結果

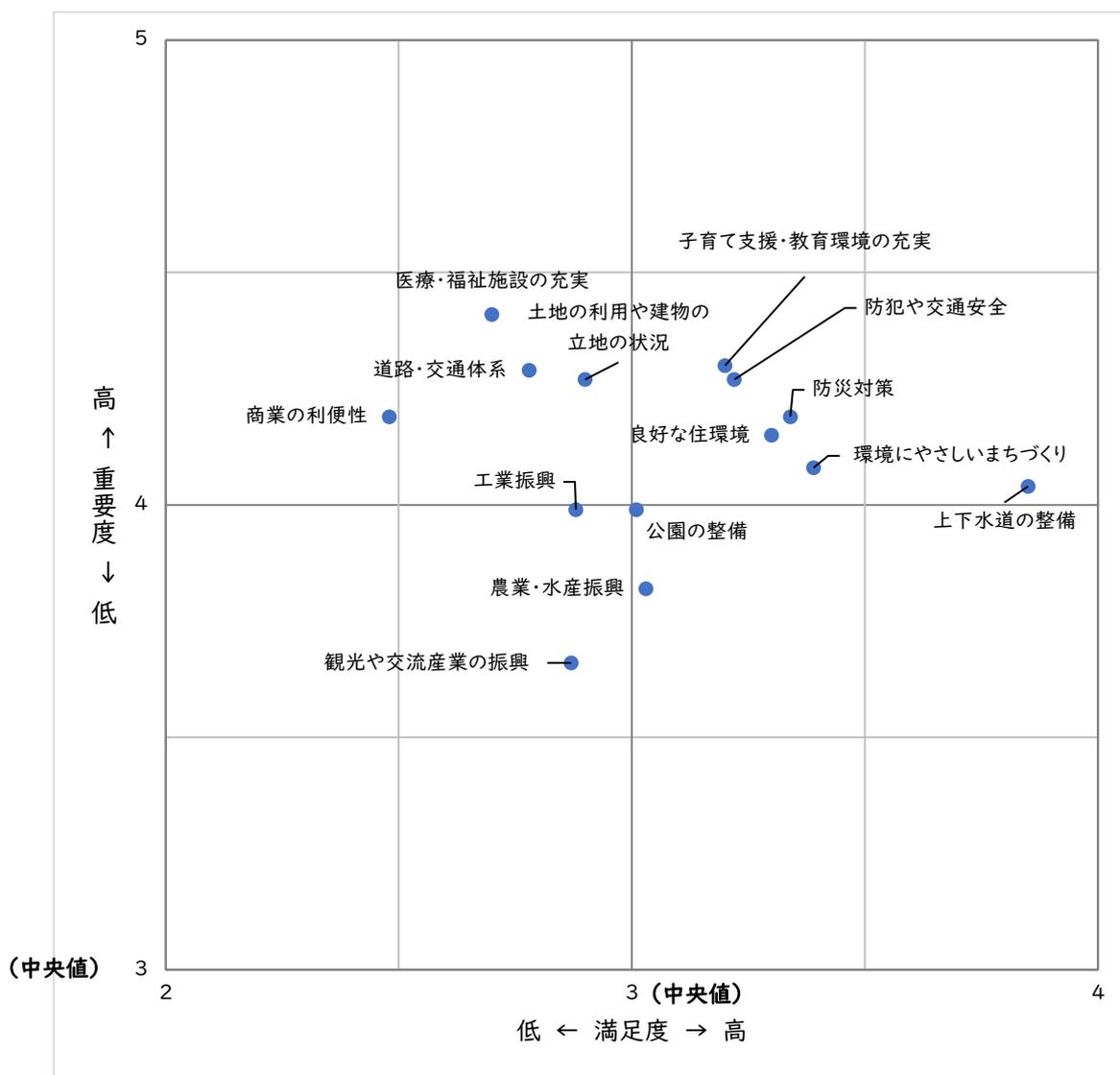
- 回収数 439 件（回収率 29.3%）

(2) 主な調査結果

<今後も長洲町に住みたいですか>

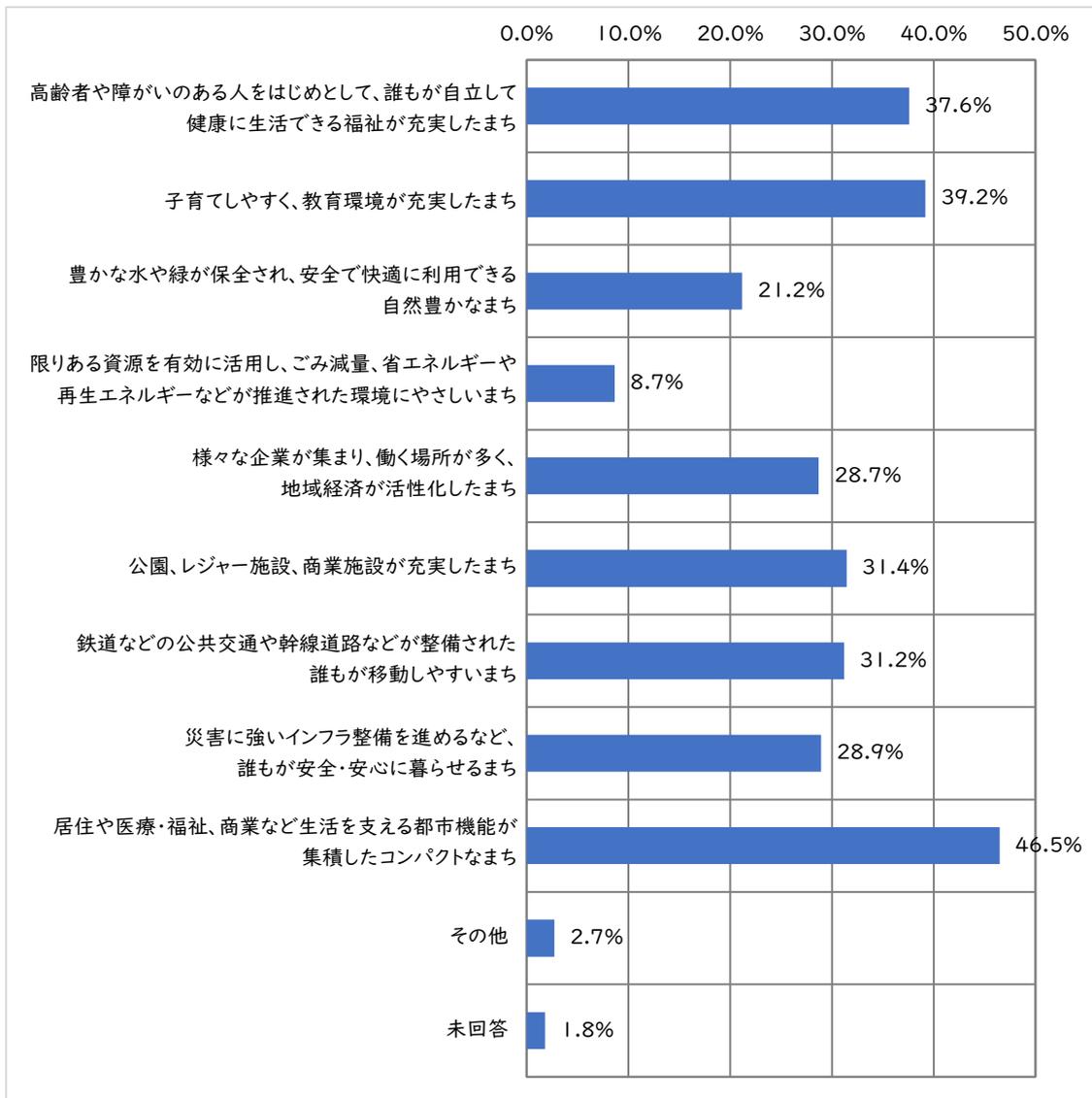


<長洲町の暮らしについての評価>



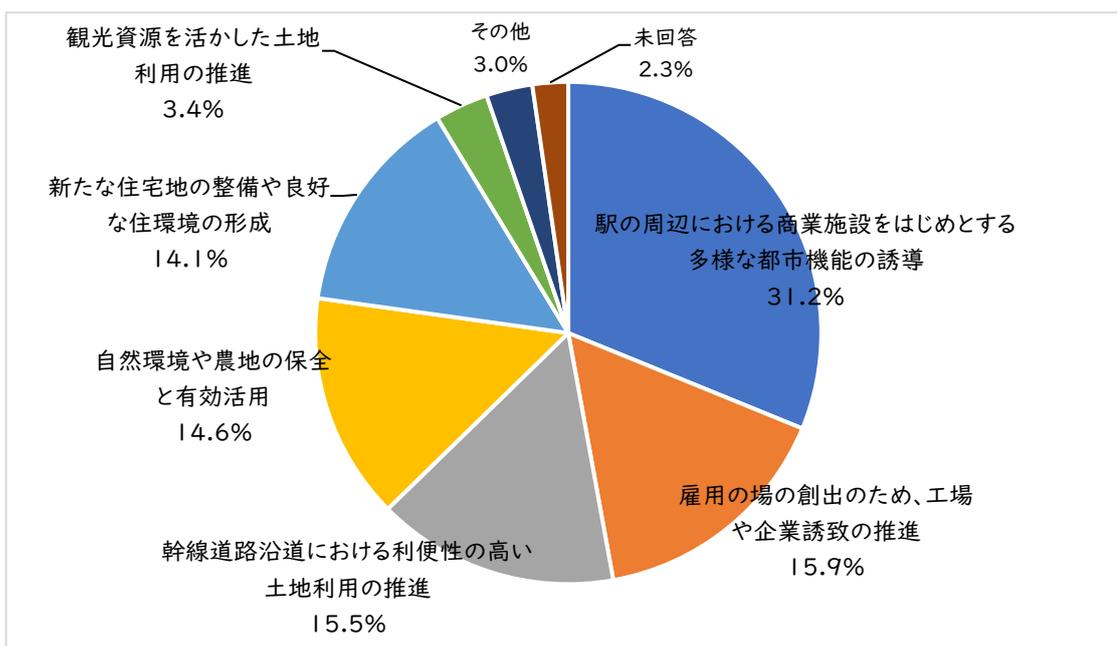
- 「上下水道の整備」「環境にやさしいまちづくり」「防災対策」「良好な住環境」「防犯や交通安全」「子育て支援・教育環境の充実」が、現状で不満ではない項目になっています。
- 「商業の利便性」「医療・福祉施設の充実」「道路・交通体系」「土地の利用や建物の立地の状況」が、満足度が低く、重要度の高い項目になっています。

<将来像（20年後）として望ましいイメージ（3つ以内で選択）>



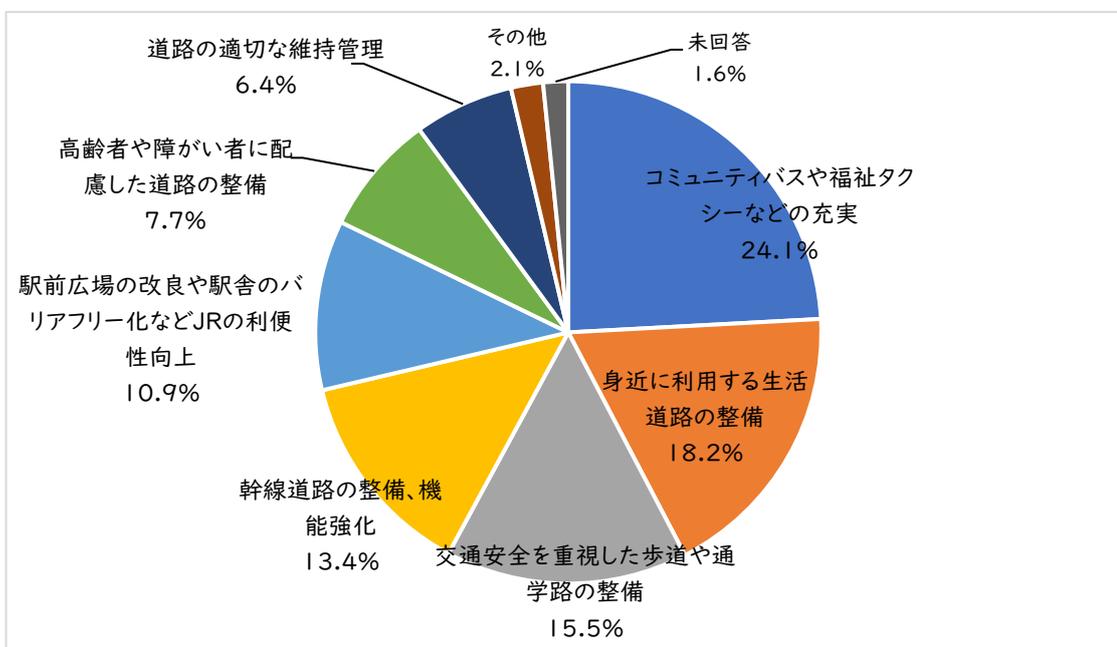
- 町全体の将来像として、「居住や医療・福祉、商業など生活を支える都市機能が集積したコンパクトなまち」が最も多く、次いで「子育てしやすく、教育環境が充実したまち」「高齢者や障がいのある人をはじめとして、誰もが自立して健康に生活できる福祉が充実したまち」の順に多くなっています。

<土地利用において重要だと思う取組>



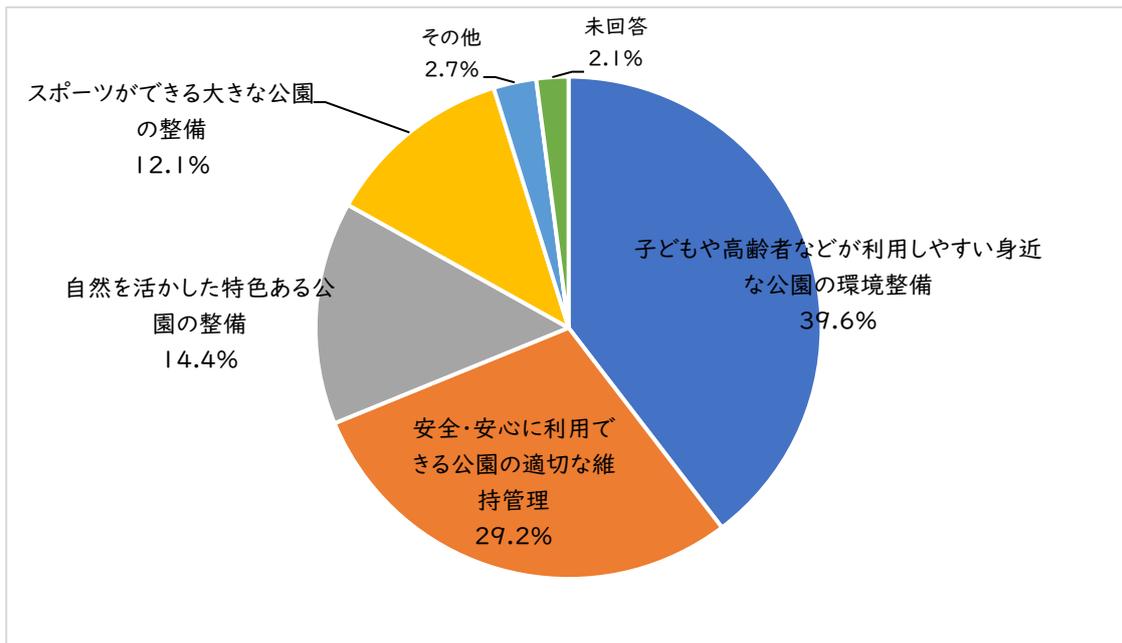
- 「駅の周辺における商業施設をはじめとする多様な都市機能の誘導」が3割を超え最も多く、次いで「雇用の場の創出のため、工場や企業誘致の推進」「幹線道路沿道における利便性の高い土地利用の推進」の順に多くなっています。

<交通体系において重要だと思う取組>



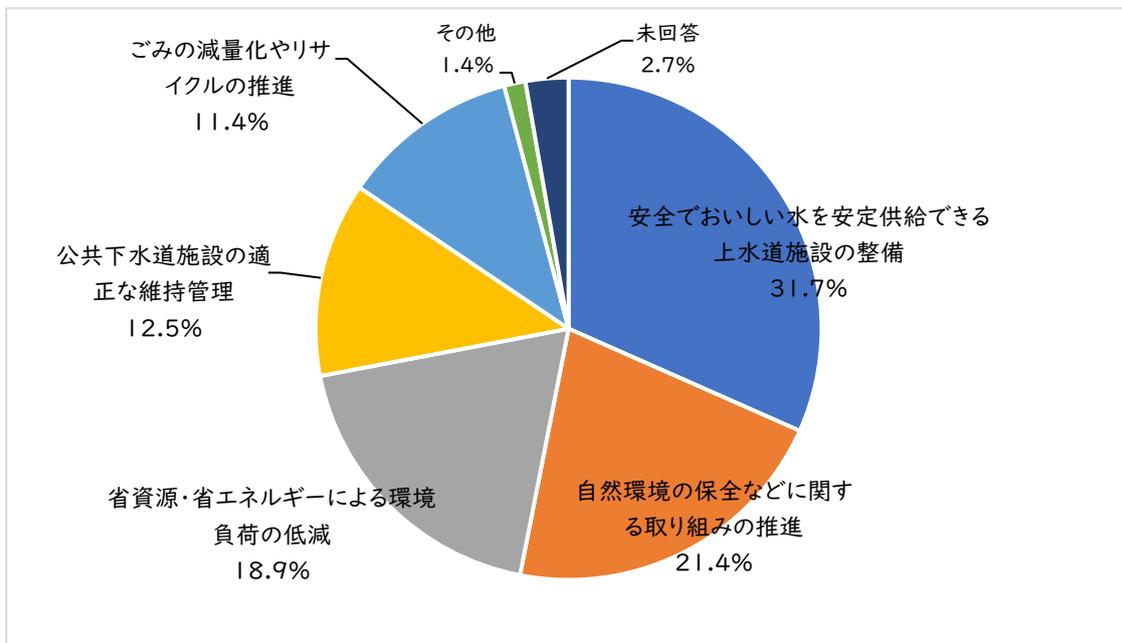
- 「コミュニティバスや福祉タクシーなどの充実」が2割を超え最も多く、次いで「身近に利用する生活道路の整備」「交通安全を重視した歩道や通学路の整備」の順に多くなっています。

<緑地・公園において重要だと思う取組>



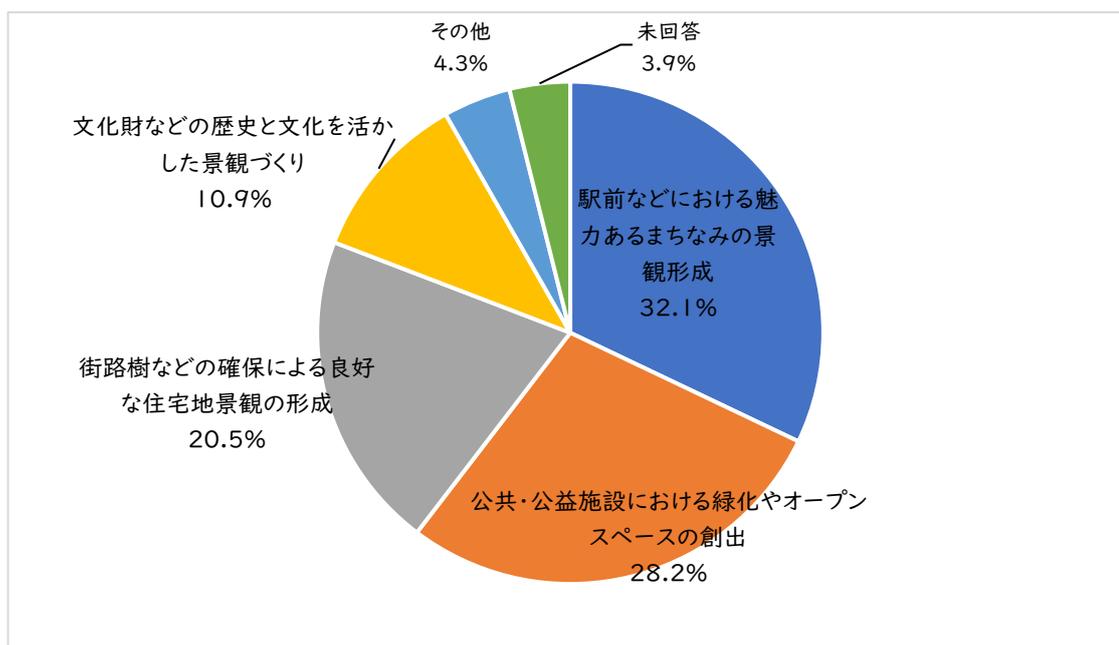
- 「子どもや高齢者などが利用しやすい身近な公園の環境整備」が約4割と最も多く、次いで「安全・安心に利用できる公園の適切な維持管理」「自然を活かした特色ある公園の整備」の順に多くなっています。

<環境において重要だと思う取組>



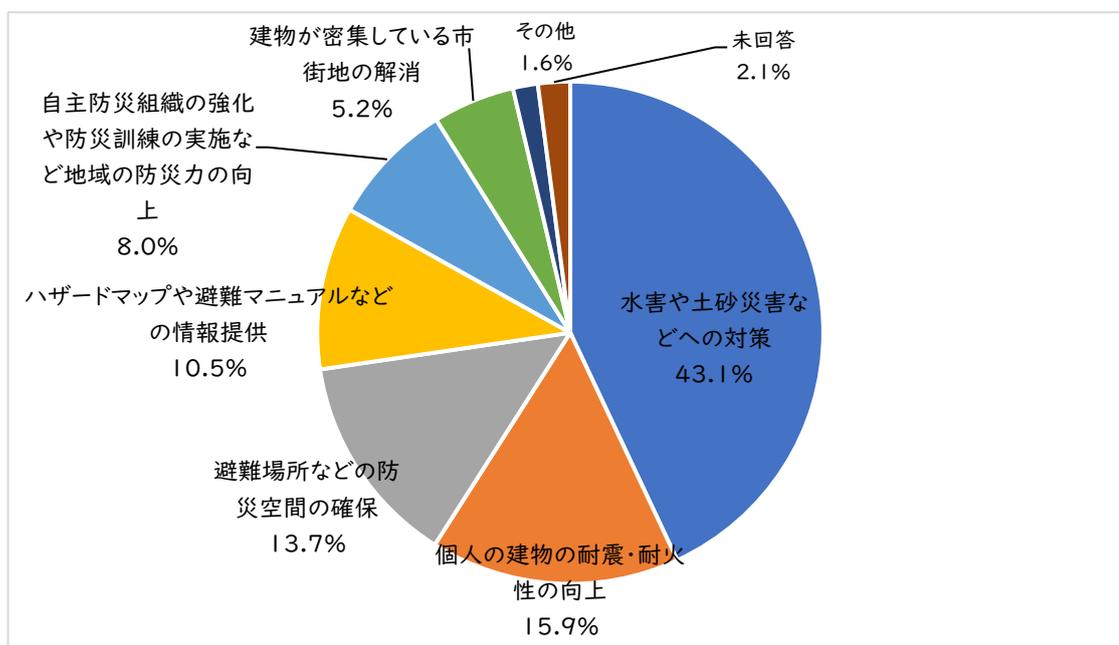
- 「安全でおいしい水を安定供給できる上水道施設の整備」が3割を超え最も多く、次いで「自然環境の保全などに関する取り組みの推進」「省資源・省エネルギーによる環境負荷の低減」の順に多くなっています。

<景観において重要だと思う取組>



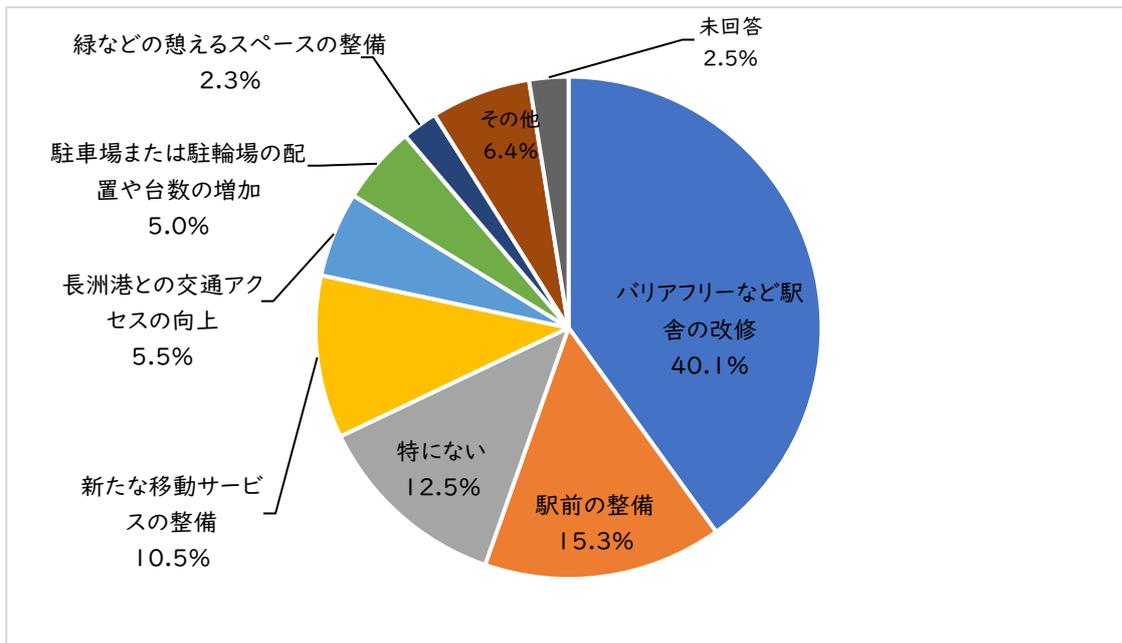
- 「駅前などにおける魅力あるまちなみの景観形成」が3割を超え最も多く、次いで「公共・公益施設における緑化やオープンスペースの創出」「街路樹などの確保による良好な住宅地景観の形成」の順に多くなっています。

<防災において重要だと思う取組>



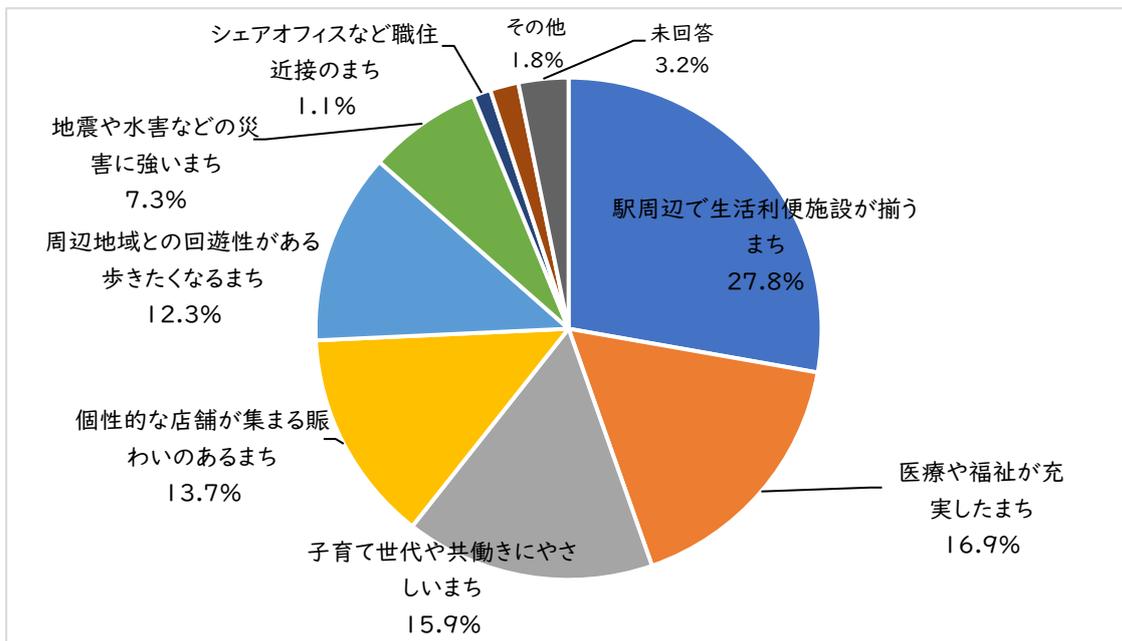
- 「水害や土砂災害などへの対策」が4割を超え最も多く、次いで「個人の建物の耐震・耐火性の向上」「避難場所などの防災空間の確保」の順に多くなっています。

<JR 長洲駅の課題を改善するための優先的な取組事項>



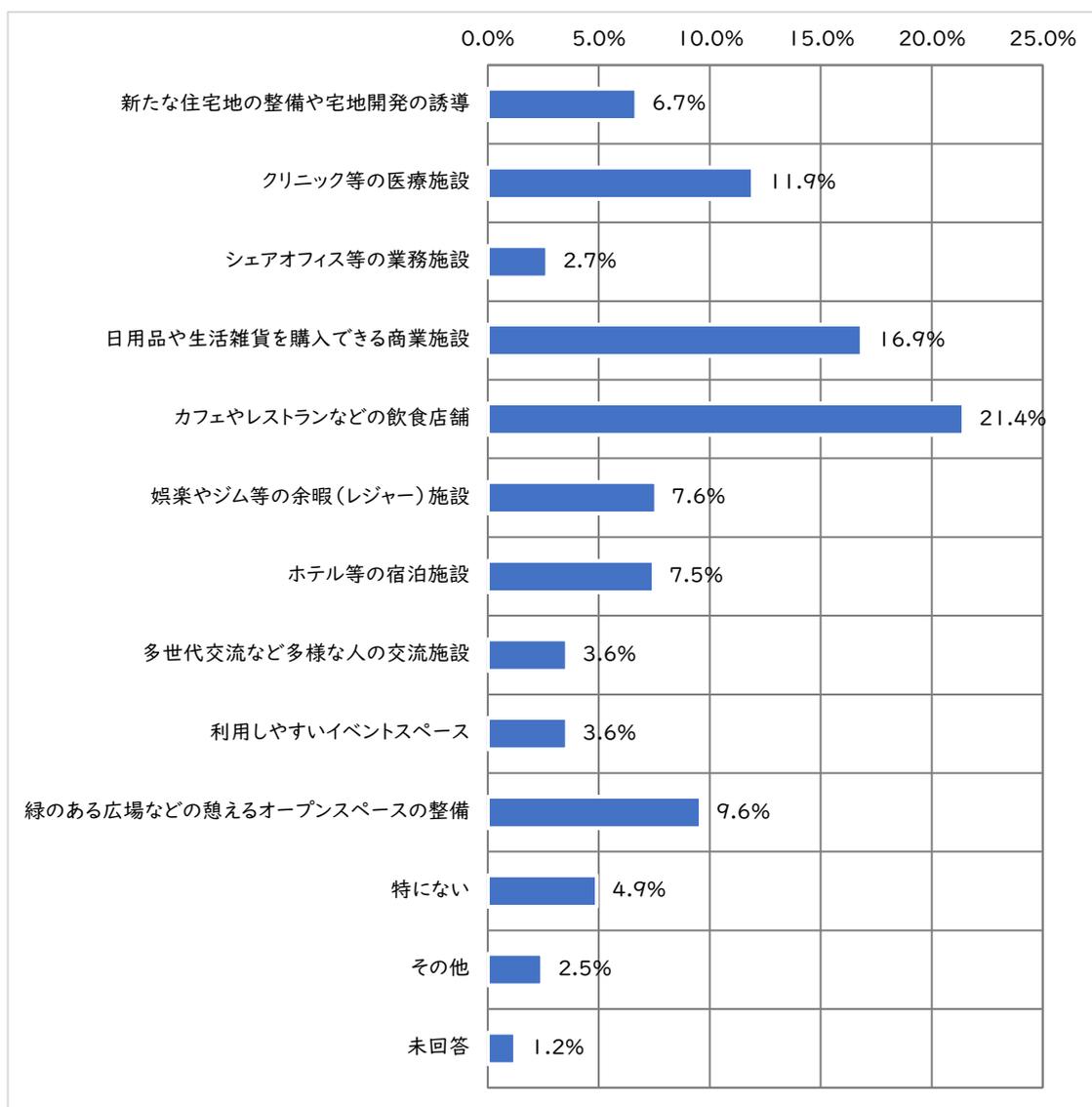
- 「障壁フリーなど駅舎の改修」が約4割と最も多く、次いで「駅前の整備」「特にな

<JR 長洲駅周辺が目指すべきまちづくり>



- 「駅周辺で生活利便施設が揃うまち」が2割を超え最も多く、次いで「医療や福祉が充実したまち」「子育て世代や共働きにやさしいまち」の順に多くなっています。

< JR長洲駅や駅周辺に必要な施設（3つ以内で選択） >



- JR長洲駅や駅周辺に必要な施設として、「カフェやレストランなどの飲食店舗」が最も多く、次いで「日用品や生活雑貨を購入できる商業施設」「クリニック等の医療施設」の順に多くなっています。

＜長洲町全体に関して＞

- 有明海沿岸道路の整備を進めてほしい。
- 駅近の医療、買い物施設を作ってほしい。複合施設があると便利に感じる。道路整備も必要。
- 中学校の統合によって、子どもの通学距離が延びたり、自転車での通学による交通事故等が考えられるので、子どもたちが安心して、学んだり、遊んだりできる教育環境を整備してほしい。
- 高齢化が進み、空き家などが多く見られるため、空家対策を強化してほしい。
- 長洲駅を中心とした商業施設、企業の誘致を進め、若い人が訪れたいと思える町にしてほしい。
- 公共施設、福祉、教育に力を入れてほしい。
- 長洲駅のバリアフリー化。
- 熊本市内から友人が金魚と鯉の郷広場を目当てに来ることがあるので、子育て世帯がまた訪れたい、一日過ごせるような公園や周辺の整備をすると町が賑わうと思う。
- 交通手段の充実。
- 娯楽、レジャー施設が少なく、若い人が来訪するところがない。
- 様々な申請手続きを WEB でできるようにしてほしい。
- 長洲駅周辺の医療や商業施設を充実してほしい。
- 統合される中学校跡地を道の駅やホテルなどとして活用してはどうか。
- 高齢者の受け入れ施設や老人介護施設等を充実させてほしい。
- 腹赤、六栄小学校区に学習スペースのある建物を作ってほしい。
- 荒尾市、玉名市との中間位置にあることを意識し、全てを町内で賑わおうとするのではなく、補い合う関係性を深めることが必要。
- 周辺の地域に比べ、災害が少ない印象がある。
- フェリー乗り場の再開発。
- 田畑を減らして住宅、商業施設を増やしてほしい。

2-6. まちづくりにおける課題の整理

(1) 人口動向から見た課題

【長洲町で生まれ育った子どもたちが住み続けられる環境形成が必要】

- 本町の人口は、将来的にすべての世代で減少傾向にあり、2040年の総人口は2000年時点と比較して6割程度まで減少する見込みとなっています。
- その一方で、年齢別の社会増減の状況を見ると、進学や就職による転出者が年々減少している傾向にあり、町で生まれ育った子どもたちがそのまま住み続けている傾向にあります。
- 将来的な人口減少を抑制する観点から、雇用の受け皿を維持するほか、安心して子育てできる環境を形成するなど大人になっても町に住み続けたいくなるような魅力形成が必要です。

【外国人も安心して暮らせるまちづくりが必要】

- 町内に居住している外国人は年々増加傾向にあり、町の人口に占める外国人の割合は熊本県内の市町村で最も高い値となっています。
- 外国から来た人たちが既存の住民と障壁無く暮らせる環境づくりによって、地域コミュニティの活性化が期待できることから、外国人も地域で安心して暮らせる環境形成が必要です。

(2) 土地利用状況から見た課題

【低未利用地の活用による土地利用の適正なコントロールが必要】

- 住宅の新築動向を見ると、主に既存市街地や用途地域外の集落において立地がされている傾向にありますが、これらのエリアにおいては、低未利用地も集積している状況です。
- 住宅の立地にあたっては、これらの低未利用地を活用することで、既存市街地や集落エリアへの人口集積を図る必要があります。

(3) 拠点形成の面から見た課題

【長洲駅周辺の魅力ある土地利用の形成と中心市街地の活性化が必要】

- JR 長洲駅南側は農地が広がっており、駅直近のエリアとしてのポテンシャルを活かしきれていない状況です。
- JR 長洲駅周辺は中心市街地としての位置づけもあり、中心市街地の魅力向上によって若者世代が住みたいと思えるような土地活用を図るべきエリアでもあります。
- 中心市街地の魅力向上にあたっては、商業施設など多くの人が利用する施設を立地させるための都市基盤整備が必要です。

【長洲駅のバリアフリー整備が必要】

- JR 長洲駅は橋上駅舎となっていますが、駅を利用するためには階段を上る以外の方法が無く、車いすやベビーカーでの利用がしづらい状況です。
- 駅舎へのエレベーター、エスカレーター等の整備によって、車いすやベビーカー等を利用する人も問題なく利用できるようにする必要があります。

【長洲港の交通結節点としての機能整備・充実が必要】

- 長洲港は、長崎方面からフェリーによって多くの人を訪れる交通結節点ですが、自家用車を運転したまま下船し、長洲港周辺に立ち寄ることなく他の目的地に向かっている人が多い状況です。
- フェリーを利用する人が周辺エリアに立ち寄りたくなるような魅力ある土地利用の形成が必要です。

(4) 産業から見た課題

【商業活性化による魅力向上が必要】

- 産業別の事業所数、従業者数の推移を見ると、卸売業や小売業の事業所数が減少しているほか、商業従事者数についても減少傾向にあります。
- 日常的な買い物の利便性や魅力ある商業施設は、若者世代が居住地を選ぶ際の重要なポイントとなるため、商業の活性化を図る必要があります。

【工場エリアの操業環境の向上による職住近接の環境維持が必要】

- 町沿岸部には造船所をはじめ多くの工場が立地しており、町の経済を支えているほか、多くの人の雇用の受け皿となっています。
- 町内に住む・働く環境がある「職住近接」の環境を維持するためには、町内の工場が操業できる環境を向上していく必要があります。
- また、大手半導体製造企業の熊本進出を契機とし、今後地域経済の発展や産業の活性化が期待されています。
- そのため、将来を見据えた物流・人流拠点機能の強化を図るとともに、工業用地の確保が必要です。

【農水産業の基盤整備が必要】

- 安定した農業・水産業の生産・漁獲を維持するためには、人材確保や農業・漁業の基盤整備および営農・漁業環境の保全を図っていく必要があります。
- 担い手の減少等による農地の維持管理不足によって、耕作放棄地などの増加や自然の緑の質の低下が懸念されており、貴重な自然地や農地などを保全し、都市緑化を促進していく必要があります。

(5) 景観から見た課題

【町を象徴する景観の保全による魅力づくりが必要】

- 町内には長洲港やゴライアスクリーンなど他市町村にはないような魅力ある景観を有しています。
- また、有明海に広がる干潟の保全を図るとともに、潮干狩りや海苔の養殖体験などといった海の恩恵や有明海の恵みを最大限に活かしたまちづくりを推進していく必要があります。

(6) 都市基盤の整備状況から見た課題

【歩行者が安心して通行できる道路整備が必要】

- 町内を格子状に都市計画道路が整備・計画されていますが、市街地内の道路においては、幅員が狭い箇所や歩道が整備されていない箇所も見られます。
- 市街地内の安全な道路環境・歩行環境を形成するため、歩道の整備やカラー舗装などを推進する必要があります。

【公園や緑地の適正な管理活用による良好な住環境の形成が必要】

- 都市計画公園は町内各所で整備されており、公園の適正な維持管理により、良好な子育て環境の形成や地域コミュニティの活性化を図っていく必要があります。

【無秩序な市街地の拡大抑制が必要】

- 下水道については、市街地や集落をほぼ網羅できている状況ですが、無秩序に市街地が拡大されると、新たな下水道の整備が必要となり維持管理更新コストが増大します。
- 将来的な町民の負担を軽減するために、空き家や低未利用地を活用しながら無秩序な市街地の拡大を抑制する必要があります。

(7) 防災上の安全性から見た課題

【避難情報の周知や早期避難による安全確保が必要】

- 想定最大規模の大雨によって主要河川が氾濫した場合、長洲町役場や指定緊急避難場所・指定避難所、福祉避難所の一部の施設は浸水リスクが指摘されています。
- そのため、迅速かつきめ細やかな災害時の避難情報の周知や早期避難による安全確保など防災の視点を取り込んだまちづくりを推進する必要があります。

